

災害対応の実態
聞き取り調査

福祉専門職アンケート

(地域包括支援センター・相談支援事業所・基幹相談支援センター)

分析集

延岡市 総務部 危機管理課

目次

■ 福祉専門職アンケート 分析集

◆ アンケート調査 実施概要	3~4
◆ 設問ごとのグラフ化と、分析	
➢ 職員間の話し合い実施状況 (問1)	5
➢ 利用者からの問合せ状況 (問2)	6
➢ 避難支援の実施状況 (問3)	7~21
➢ 「利用者の防災」に対する支援実施状況 (問4)	22
➢ 個別避難計画に関する取組状況 (問5)	23~26
➢ 避難行動に関する意見 (問6)	27~30
➢ 災害時の支援に関し懸念していること (問7)	31~32
➢ 円滑な避難支援に向けて必要なこと (問8)	33~34
➢ 台風通過後に相談されたことや見聞きしたこと (問9)	35~38

実施日	2023年（令和5年） 06月05日（月）～06月13日（火）
調査対象	地域包括支援センター（市内11箇所）、 基幹相談支援センター（市内3箇所）、 相談支援事業所（市内16箇所）
調査方法	配布：電子メールにて各施設へアンケート （Excel）を送付 回収：電子メールにて市役所へ返送 （1事業者1回答）
回収数	23票 ※全設問に無回答だった1票を除いた数 （配布数 30票／回収率 76.7%）
設問	<p>問1：職員間の話し合い実施状況</p> <p>問2：利用者からの問合せ状況</p> <p>問3：避難支援の実施状況</p> <p>問4：「利用者の防災」に対する支援実施状況</p> <p>問5：個別避難計画に関する取組状況</p> <p>問6：避難行動に関する意見 （自由回答記述）</p> <p>問7：災害時の支援に関し懸念していること</p> <p>問8：円滑な避難支援に向けて必要なこと</p> <p>問9：台風通過後に相談されたことや 見聞きしたこと（自由回答記述）</p>

台風14号における災害対応等に関する検証委員会
災害対応の実態聞き取り票（地域包括支援センター）

※アンケートに対する回答は、貴センターとしてのお考えをご記入ください。
※1事業者1回答をお願いします。

当日の避難支援について
台風接近前～通過中（2022/09/17～19前後）の貴センターでの対応等についてお聞かせください。

問1. 貴センターでは、台風接近前に、地域の要支援者の避難支援に関する対応について職員間で話し合いを行いましたか？当てはまるものに「1」を入力してください。

行った（具体的に「1」に記入してください）

行っていない

問2. 地域住民や福祉事業所から避難に関する問い合わせがありましたか？当てはまるものに「1」を入力してください。（SOS 避難場所の問い合わせ、病院や施設の利用に関して等）

あった（問い合わせ内容を「1」に記入してください）

なかった

問3. 台風14号時、貴センターでは避難支援をしましたか？当てはまるものに「1」を入力してください。

<input type="checkbox"/> 訪問や声掛けを行った _____	<input type="checkbox"/> 台風14号では避難支援をしていない
<input type="checkbox"/> 避難・防災に限らず、日常的な関わりで支援が必要であると認識していたから	<input type="checkbox"/> 3-2. 「避難支援をしていない」理由をお聞かせください（当てはまるもの全てに「1」を入力してください）。 ※近いものがなければ、「その他」の記入欄にご記入ください。 <input type="checkbox"/> 自分自身の避難で手一杯だから。
<input type="checkbox"/> 防災の計画（個別避難計画等）を考えて、事前に決めていたから	<input type="checkbox"/> 特に、その考えが思い浮かばなかったから
<input type="checkbox"/> 台風直前に、避難支援を頼まれたから	<input type="checkbox"/> 避難支援のための手段道具がなかったから（移動手段となる車がなかった等）
<input type="checkbox"/> 頼まれてはいないが、心配になったから	<input type="checkbox"/> 避難支援の役立つ技術・力がなかったから（災害に関する知識不足）
<input type="checkbox"/> 所属組織で指示があったから	<input type="checkbox"/> その他 「1」に記入してください _____
<input type="checkbox"/> その他 「1」に記入してください。 _____	<p style="text-align: center;">問4にお進みください</p>

3-3. 具体的にどこに避難誘導しましたか？当てはまるものに「1」を入力してください。

延岡市が指定する避難場所

親戚・知人宅

民間宿泊施設（ホテルなど）

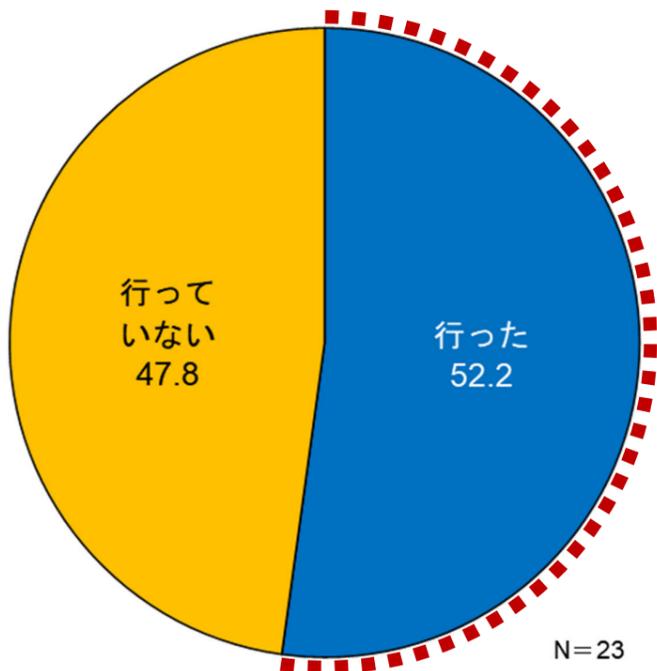
福祉施設

高い場所にある駐車場や広場

施設の種類	配布数 （票）	回収数 （票）	回収率 （%）	構成比 （%）
地域包括支援センター	11	10	90.9	43.5
基幹相談支援センター	3	2	66.7	8.7
相談支援事業所	16	11	68.8	47.8
全体	30	23	76.7	100.0

問1

貴センター・貴事業所では、台風接近前に、地域の要支援者の避難支援に関する対応について職員間で話し合いを行いましたか？



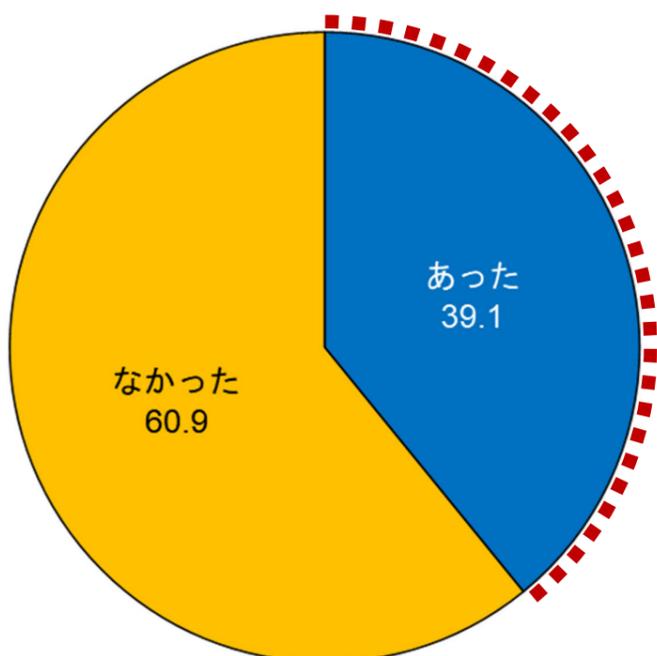
※「行った」の具体的内容

回答	度数
声掛け・連絡 ・各利用者（特に独居）や気になる方について連絡、訪問について話した ・台風接近経路や接近日時を確認しながら、地域の戸別訪問時に、避難場所や方法など具体的に声掛け等をした。 ・一人暮らしの高齢者に自宅が危険な状況の人はいないか、心配な人には避難を促す電話を入れたが、全員ではなく一部の人に限られた。 など	10
対応方法の確認 ・緊急時の対応について、利用者より依頼や相談があった際はどのように対応するか、方向性を職員で統一。 ・独居で土砂災害や水害等の危険区域に住む相談者の現状把握と避難が必要な場合の対応について協議する。 ・ミーティングで対応担当者について話し合った。	3

- **半数** (52.2%; 12回答) が「(職員間で話し合いを) **行った**」と回答。
- 話し合いの内容は、「声掛け・連絡」の実施に関するものが大半を占めた。

問2

地域住民や福祉事業所から、または利用者等から、避難に関する問い合わせがありましたか？（SOS 避難場所の問い合わせ、病院や施設の利用に関して等）

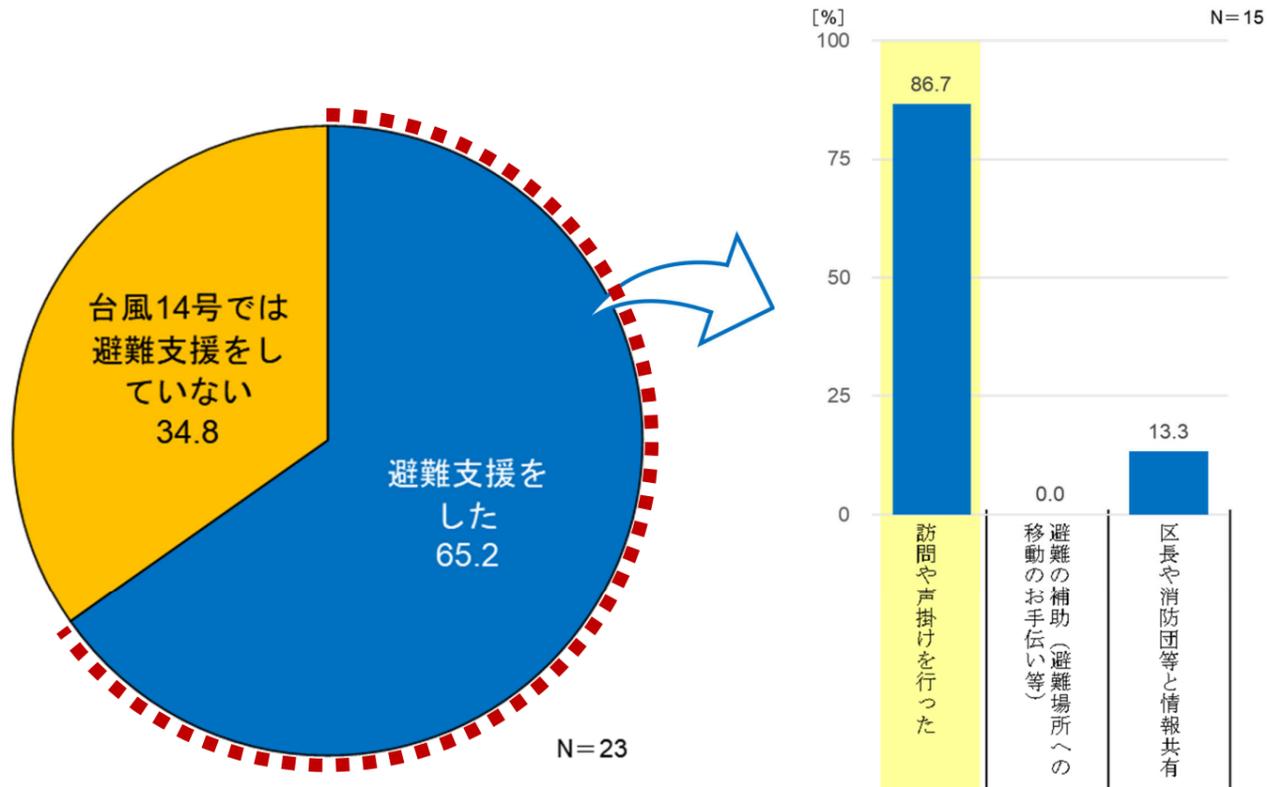


※「あった」の具体的内容

回答(コード化)	度数
避難場所の問い合わせ	5
避難できるホテルの連絡先を忘れたから教えてほしいとの問い合わせ	1
避難するかどうか迷ったの相談	1
避難場所への自主避難開始の連絡	1
感染症予防に関すること	1
浸水被害に遭った高齢者世帯の家族の情報についての問い合わせ (地区の民生委員から連絡)	1
台風に伴いヘルパーサービスが止まったことによる対応について	1

- **約4割** (39.1%; 9回答) が「(問い合わせが) **あった**」と回答。
- 問い合わせの内容としては、「避難場所の問い合わせ」が最も多かった。

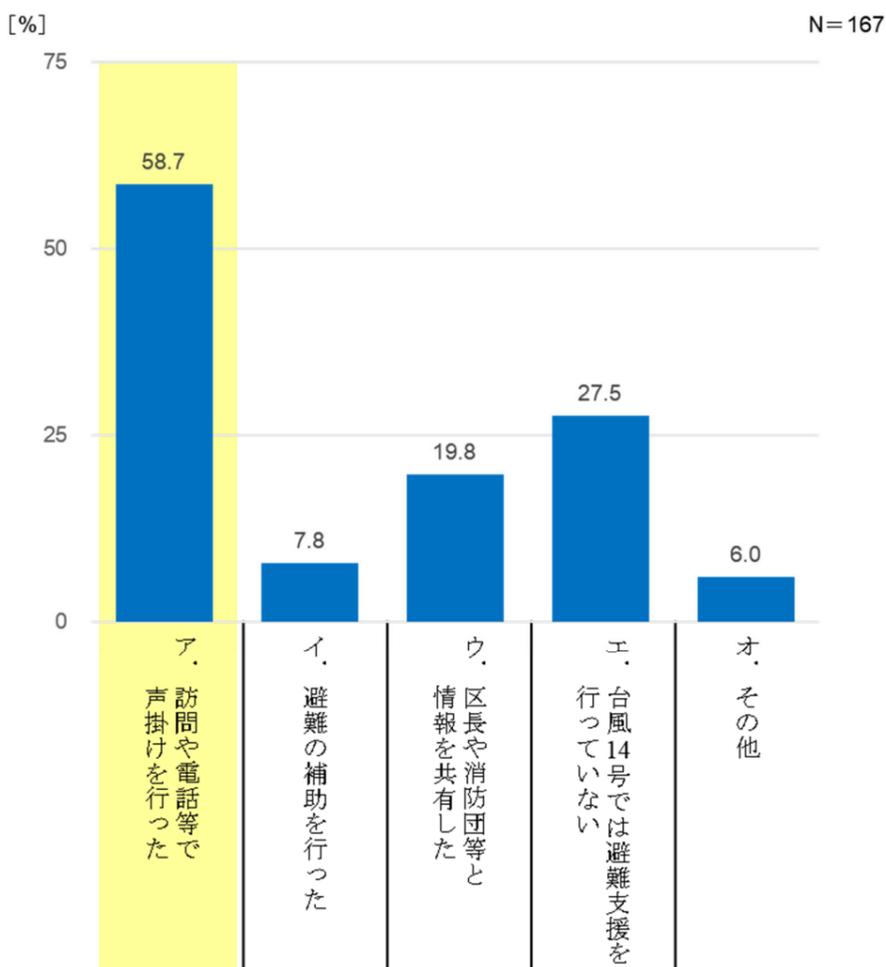
問3 台風14号時、貴センター・貴事業所では避難支援をしましたか？



- 65%が「避難支援をした」と回答。
- 実施した避難支援の内容の大半は、「訪問や声掛けを行った」であった。
 : 台風前の職員間の話し合いの内容(問1)を踏まえた実施された。
 : 本調査の回答サンプル数が少ないため傾向とまでは言い難いが、民生委員と比較すると、訪問や声掛けが中心となっている。(そもそもニーズ(利用者等からの依頼)がなかったのかもしれない)

7

問7 台風14号時に民生委員として、どのように避難支援をしましたか？
(当てはまるもの全てに○)

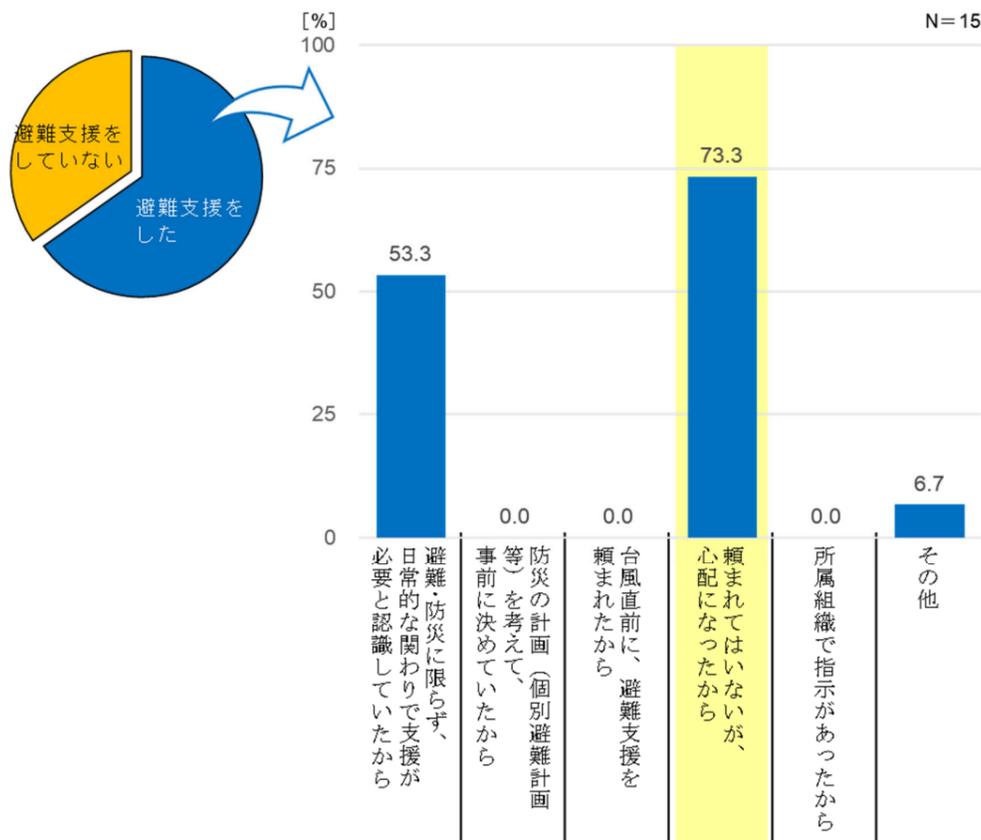


- 比較的回答率が高い項目
 「訪問や電話等で声掛けを行った」
 : 地区住民の皆さんに対して、避難支援のうち、比較的实施しやすい声掛けが最も高くなった。
- 「台風14号では避難支援を行っていない」
 : 全市にとったアンケートのため、なかには避難が必要なほどの事態にならなかった地区もあったため。

問3 台風14号時、貴センター・貴事業所では避難支援をしましたか？

※「避難支援をした」と回答した人のみ回答

3-1. 「避難支援をした」理由をお聞かせください(当てはまるもの全てに○)。

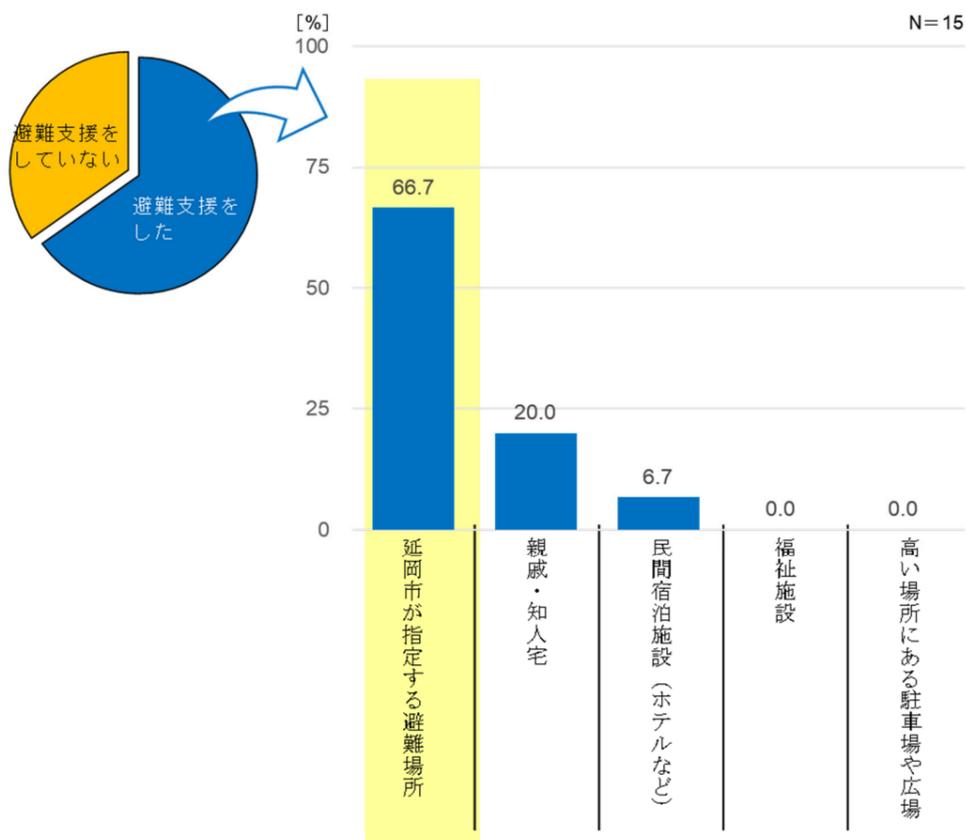


- 避難支援の理由としては、「頼まれていないが、心配になったから」が最も多く、次が「日常的な関わりで支援が必要と認識していたから」が回答された。
:2理由ともに、福祉専門職の自発的な意向

問3 台風14号時、貴センター・貴事業所では避難支援をしましたか？

※「避難支援をした」と回答した人のみ回答

3-3. 具体的にどこに避難誘導しましたか？

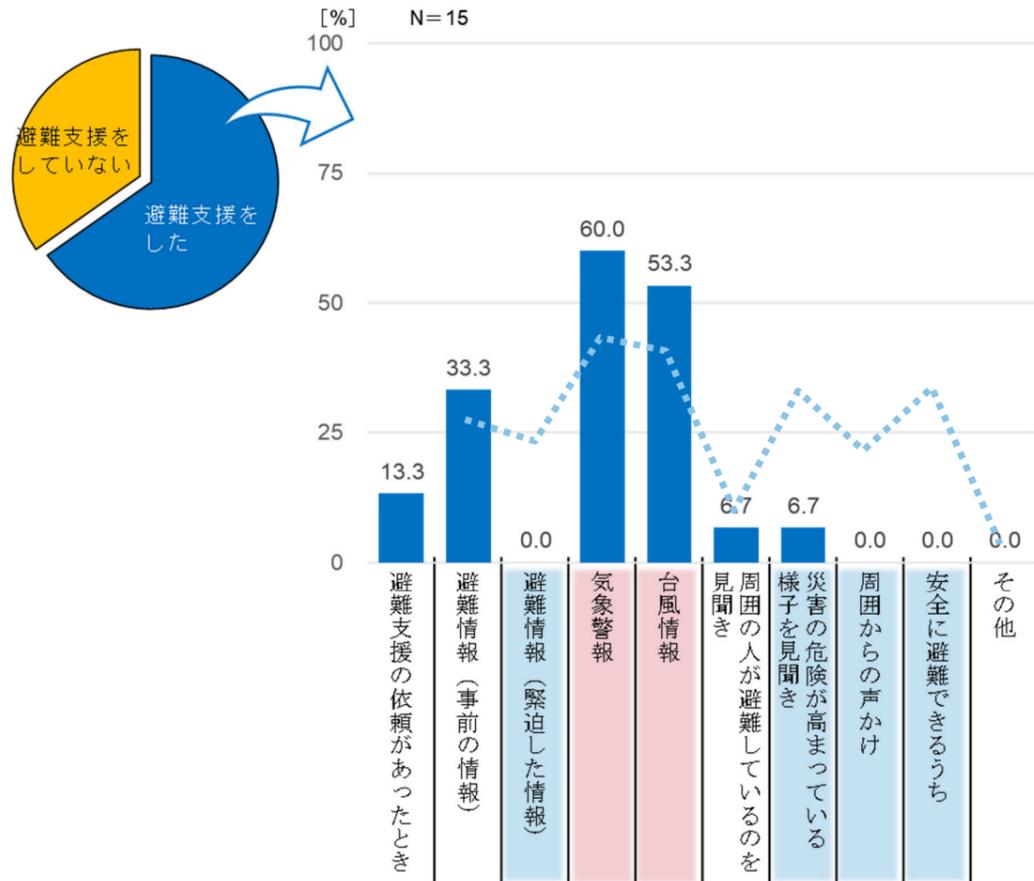


- 避難誘導先は、「延岡市が指定する避難場所」が最も多く、次いで、「親戚・知人宅」、「民間宿泊施設」と続いた。

問3 台風14号時、貴センター・貴事業所では避難支援をしましたか？

※「避難支援をした」と回答した人のみ回答

3-4. 何をきっかけに避難支援を開始しましたか？（当てはまるもの全てに○）



※折れ破線：水色は市民アンケートの結果の上端をそれぞれ結んだ。
 ※ 市民アンケートと比べて、10%以上構成比が変動がした項目は、項目名に背景色を追加した(赤・増加/青・減少) (10%にしたのは、サンプル数が少なかったため)

- 早めの行動開始を意識した災害情報の活用**
 :「避難」よりも「避難支援」の開始タイミングは早める必要があるため、それを念頭にした情報活用と推察できる。
- 市民アンケートと比べて高い項目「気象警報」「台風情報」**
 : 問4-ア-1. と同様に、「行政からの情報」に回答が集中。
 : 早めの行動がとれることを意識していたため、これら情報をきっかけとしていたと推察。
- 市民アンケートと比べて低い項目「避難情報(緊迫した情報)」「災害の危険が高まっている様子を見聞き」**
 : 周囲で「災害の危険が高まる」前に、行政からの情報で避難を開始したため、本項目が多くならなかった、と推察。
- 「周囲からの声かけ」**
 : 声をかける側の属性であるため。

区長アンケート

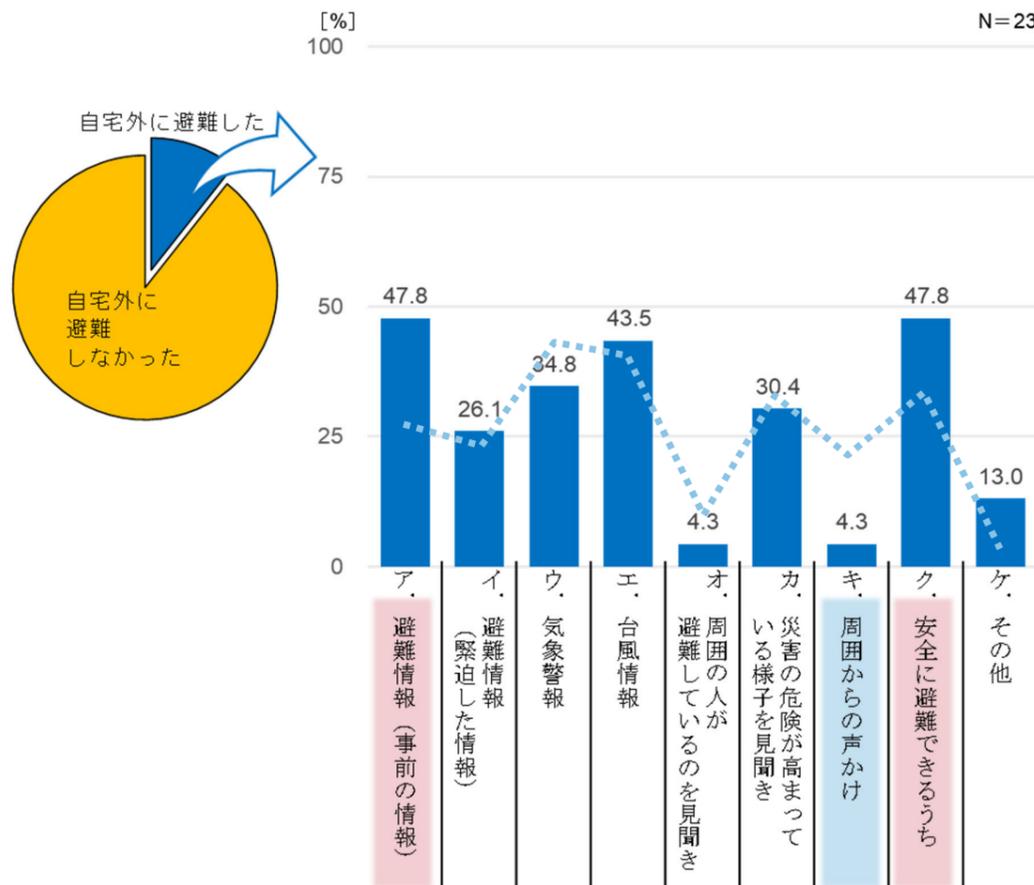
台風14号時の自宅外避難の状況

資料3-3
再掲

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。

※「自宅外に避難した」と回答した人のみ回答

4-ア-4. 何をきっかけに自宅外避難を開始しましたか？（当てはまるもの全てに○）



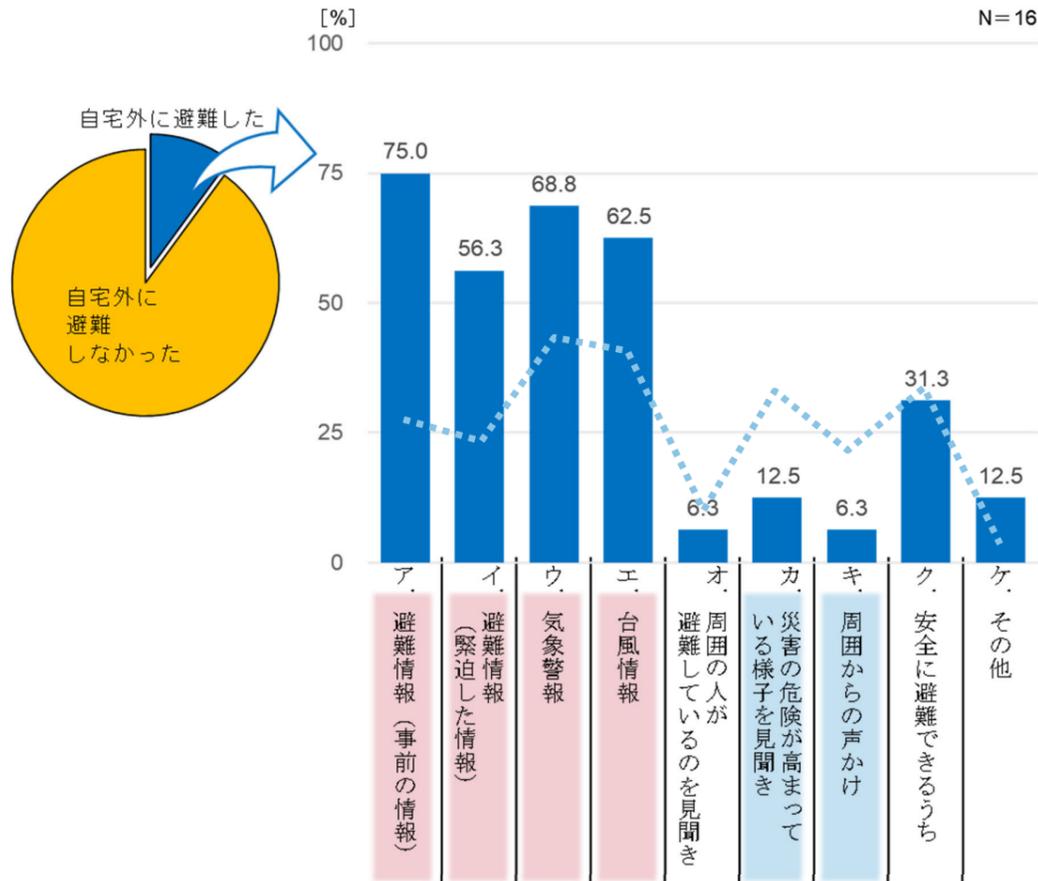
※折れ破線：水色は市民アンケートの結果の上端をそれぞれ結んだ。
 ※ 市民アンケートと比べて、10%以上構成比が変動がした項目は、項目名に背景色を追加した(赤・増加/青・減少) (10%にしたのは、サンプル数が少なかったため)

- 市民アンケートと比べて高い項目「避難情報(事前の情報)」「安全に避難できるうち」**
 : 問4-ア-1. と同様に、「行政からの情報」に回答が集中。
 : 上記の「避難情報(事前の情報)」と整合がとれる回答。
- 市民アンケートと比べて低い項目「周囲からの声かけ」**
 : 声をかける側の属性であるため。
- ただし、条件分岐でサンプル数がかなり少なくなっている。**

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。

※「自宅外に避難した」と回答した人のみ回答

4-ア-4. 何をきっかけに自宅外避難を開始しましたか？（当てはまるもの全てに○）



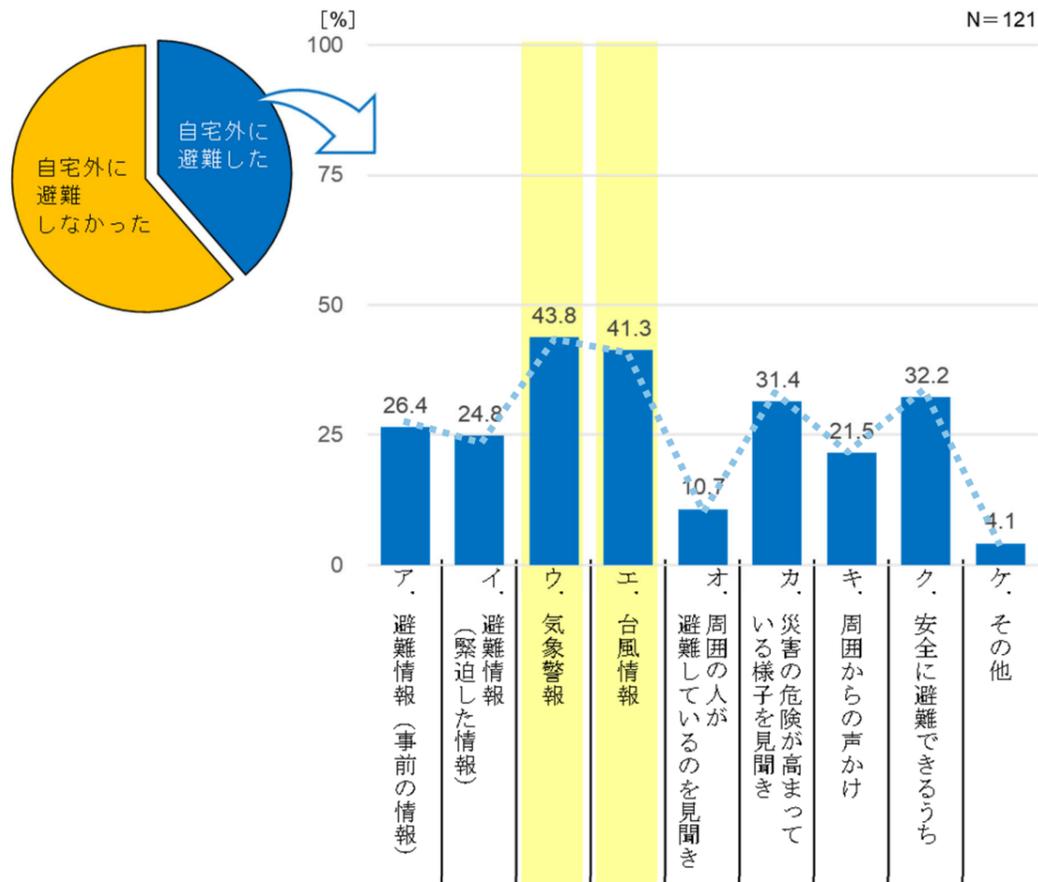
※折れ破線：水色は市民アンケートの結果の上端をそれぞれ結んだ。
 ※ 市民アンケートと比べて、10%以上構成比が変動した項目は、項目名に背景色を追加した(赤・増加/青・減少)(10%にしたのは、サンプル数が少なくなったため)

- 市民アンケートと比べて高い項目
「避難情報」「気象警報」「台風情報」
 : 問4-ア-1. と同様に、「行政からの情報」に回答が集中。
- 市民アンケートと比べて低い項目
「災害の危険が高まっている様子を見聞き」
 : 周囲で「災害の危険が高まる」前に、行政からの情報で避難を開始したため、本項目が多くならなかった、と推察。
「周囲からの声かけ」
 : 声をかける側の属性であるため。
- ただし、条件分岐でサンプル数がかなり少なくなっている。

問4 台風14号時、あなたは避難しましたか？あわせて、理由などもお聞かせください。

※「自宅外に避難した」と回答した人のみ回答

4-ア-4. 何をきっかけに自宅外避難を開始しましたか？（当てはまるもの全てに○）



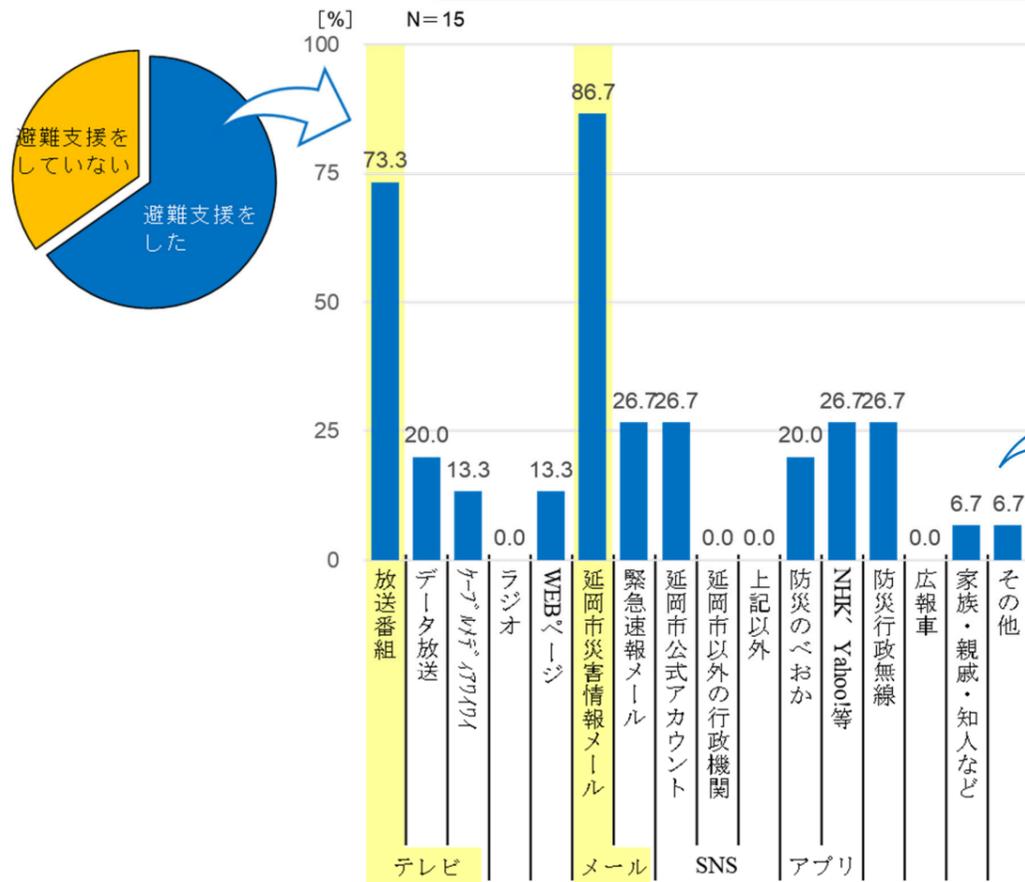
※折れ破線：水色は市民アンケートの結果の上端をそれぞれ結んだ。

「気象警報」や「台風情報」が最も高い割合となった。
 → 問4-ア-1の結果と同様に、災害のリスク認知が高い人が多いため、周囲からの声かけよりも、客観的な災害情報から適切な行動をとっていたと推察。

問3 台風14号時、貴センター・貴事業所では避難支援をしましたか？

※「避難支援をした」と回答した人のみ回答

3-5. 貴センター・貴事業所では、避難指示等の避難情報や、警報・注意報その他の防災気象情報をどのような手段で入手しましたか？（当てはまるもの全てに○）

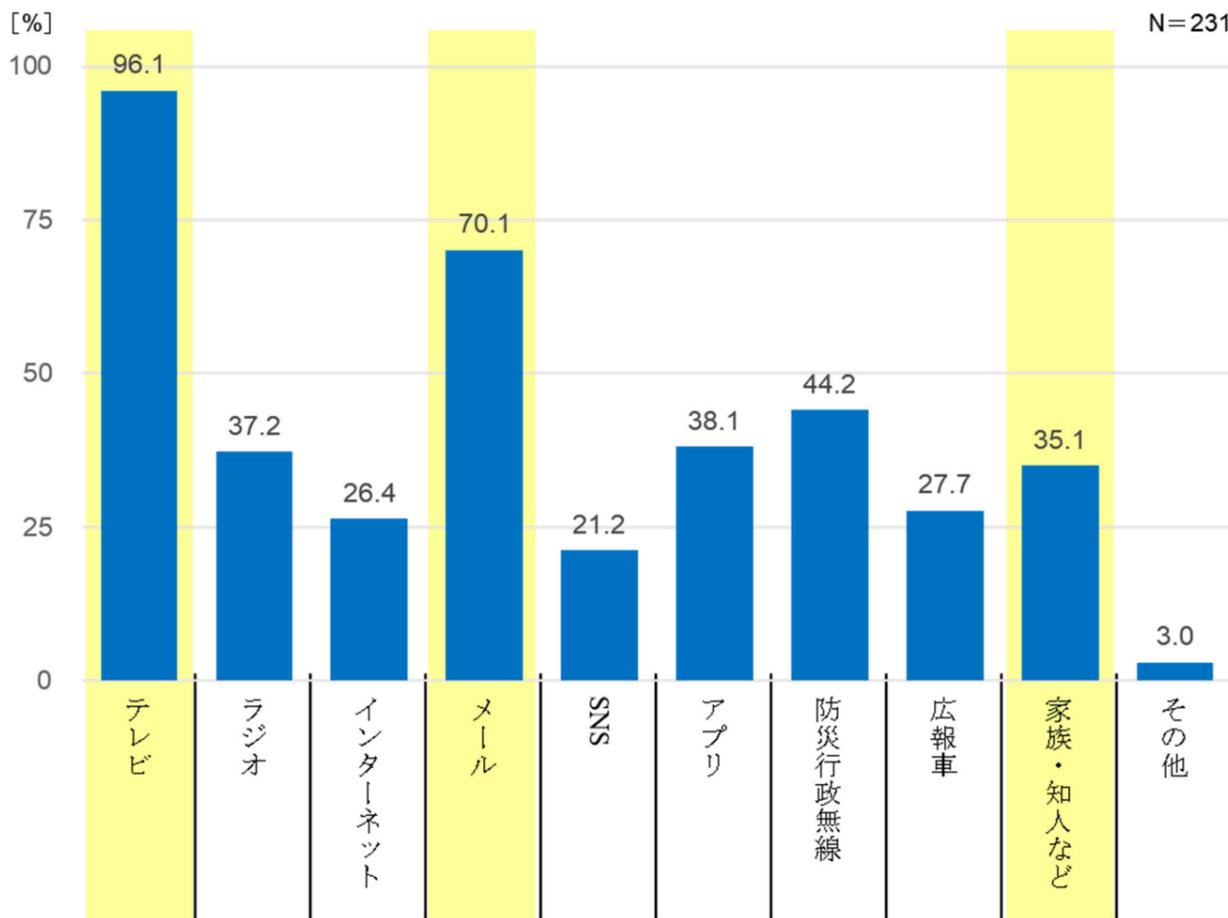


※「その他」の具体的内容

回答	度数
所属する法人の防災対策委員会 対応職員の周知にて。	1

- ・ 情報入手手段は「延岡市災害情報メール」が最も多く、次いで、「テレビ（放送番組）」：他アンケートと比べて「メール」が突出して高くなっており、「テレビ」が低くなっている。災害時に福祉専門職として動き回っているため、テレビを見ていられる状況ではなかったなど、理由があったと推察している。

問3 あなたは、災害時、情報をどのように入手していますか？（当てはまるもの全てに○）



※「インターネット」で最も参考にしたサイト

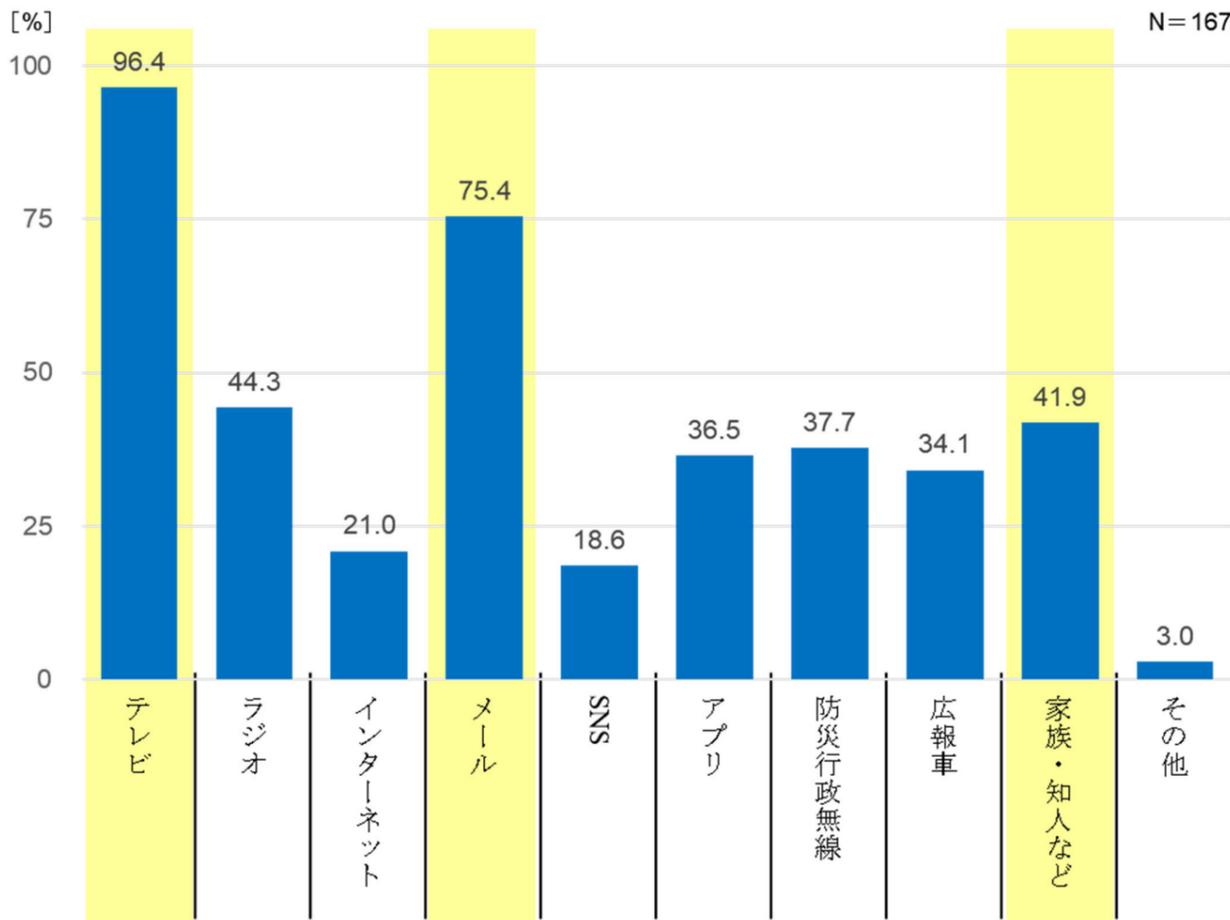
回答(コード化)	度数
天気情報 (Yahoo!天気、気象庁ナウキャストなど)	4
NHK防災	3
河川情報 (県河川カメラ、県河川水位情報など)	3
延岡防災	1
国土交通省	1
OK	1

※「その他」の具体的内容

回答(コード化)	度数
デイサービス	1
会社	1
近所の人	1

- ・ 「テレビ」は、情報取得経路として根強い。
- ・ 登録・インストールが必要な「メール」、「アプリ」が高い……情報取得への事前の備え意識を有している。
- ・ 「防災行政無線」も高いが、「広報車」が低い。……屋外スピーカーではなく、個別受信機を活用
- ・ 「家族・知人など」が低い。……「家族・知人など」へ声をかける側のため高くならなかった、と推察。

問3 あなたは、災害時、情報をどのように入手していますか？（当てはまるもの全てに○）



※「インターネット」で最も参考にしたサイト

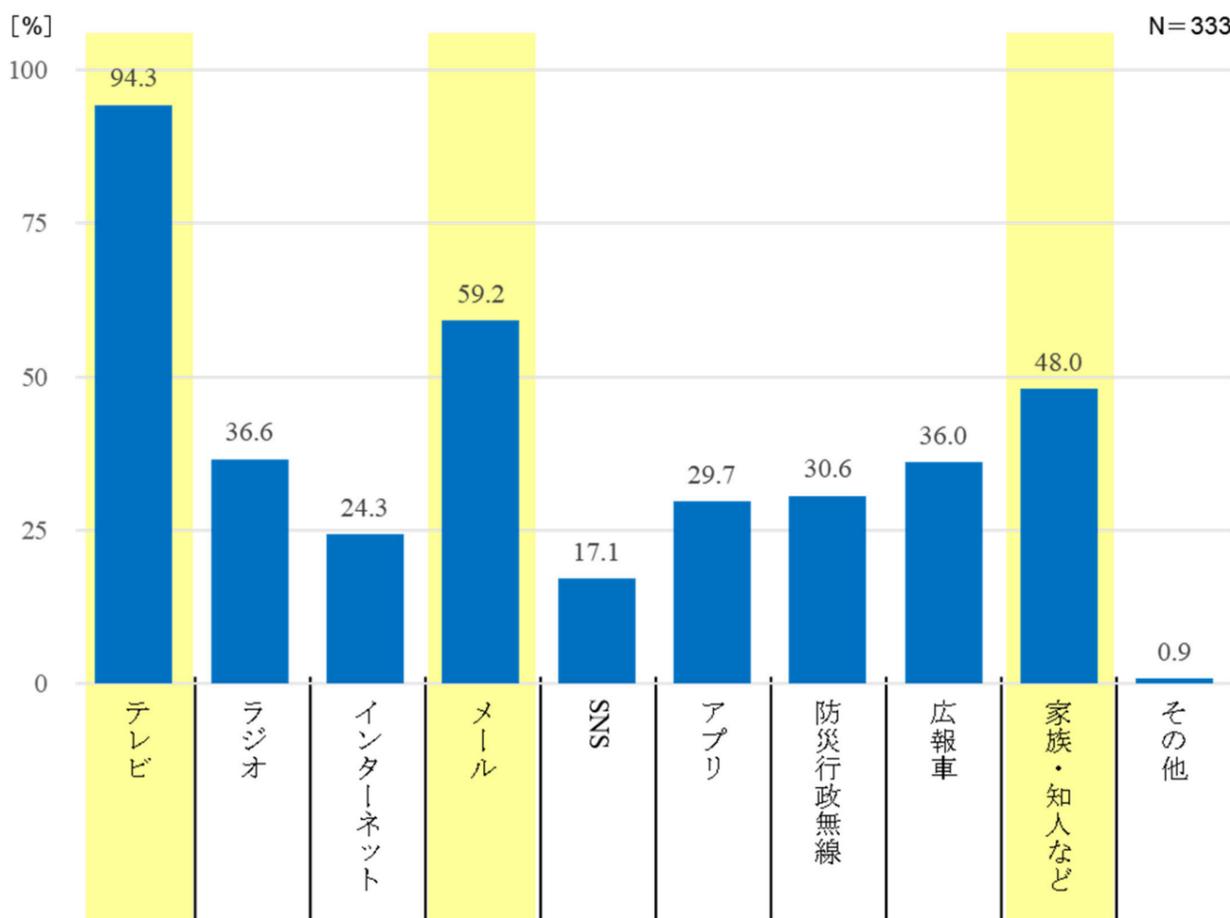
回答(コード化)	度数
天気情報 (Yahoo!天気、気象庁ナウキャストなど)	4
NHK防災	3
河川情報 (県河川カメラ、県河川水位情報など)	3
延岡防災	1
国土交通省	1
OK	1

※「その他」の具体的内容

回答(コード化)	度数
デイサービス	1
会社	1
近所の人	1

- やっぱり「テレビ」は、情報取得経路として根強い。
- 区長と同様に、登録・インストールが必要な「メール」、「アプリ」が高い。……情報取得への事前の備え意識。
- 「防災行政無線」と「ラジオ」が高い。……やはり、屋外スピーカーではなく個別受信機を活用(防災ラジオとして販売)
- 「家族・知人など」が低い。……こちらも「家族・知人など」へ声をかける側のため高くならなかった、と推察。

問3 あなたは、災害時、情報をどのように入手していますか？（当てはまるもの全てに○）



※「インターネット」で最も参考にしたサイト

回答(コード化)	度数
天気情報 (Yahoo!天気、気象庁ナウキャストなど)	4
NHK防災	3
河川情報 (県河川カメラ、県河川水位情報など)	3
延岡防災	1
国土交通省	1
OK	1

※「その他」の具体的内容

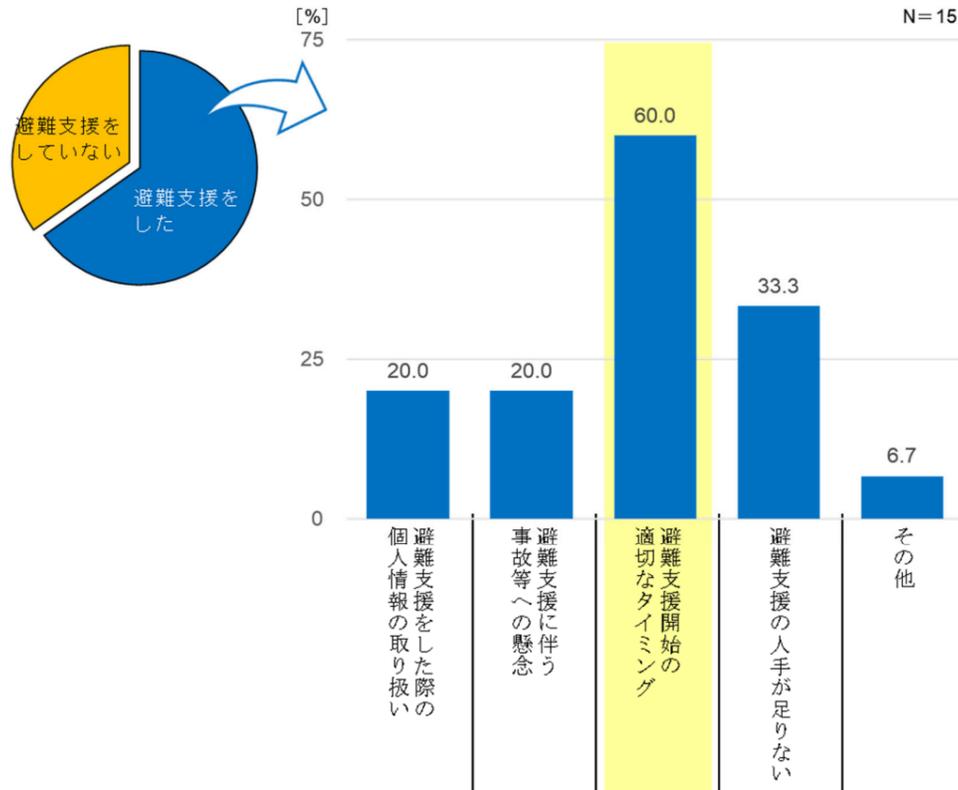
回答(コード化)	度数
デイサービス	1
会社	1
近所の人	1

回答者の大半が「テレビ」から情報を得ており、次点が携帯電話・パソコンでの「メール」、その次が「家族・知人など」と続いた。

問3 台風14号時、貴センター・貴事業所では避難支援をしましたか？

※「避難支援をした」と回答した人のみ回答

3-6. 最後に、台風14号時の避難支援の際に、困ったことについてお聞かせください。

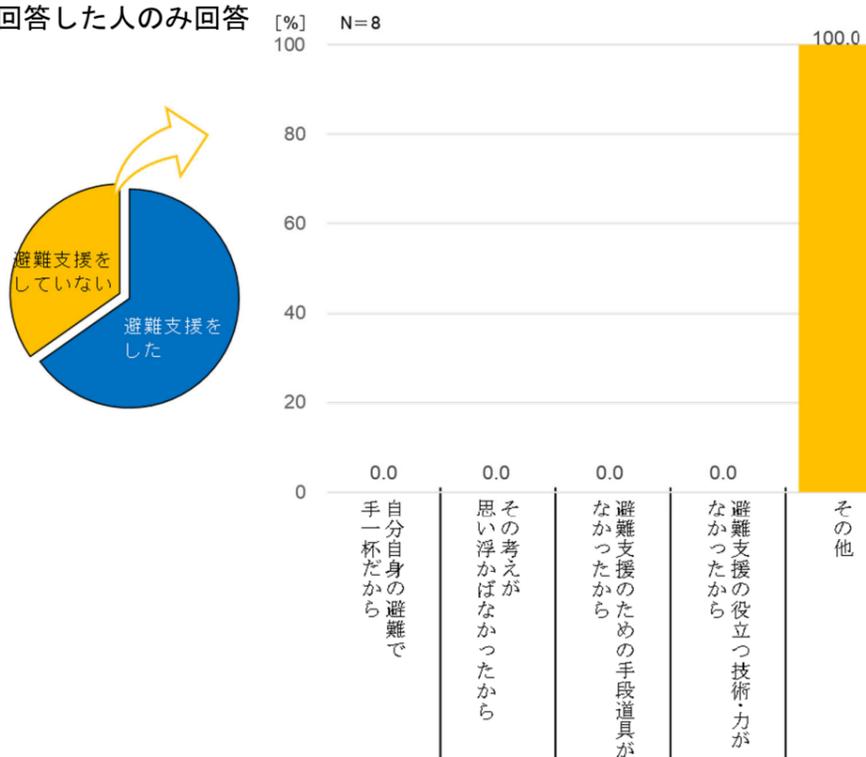


避難支援で困ったことで最も多かったのは、「避難開始の適切なタイミング」。
 : 区長アンケートや、民生委員児童委員アンケートにおいても同様の回答傾向。
 : 福祉専門職の方々も、自身が災害リスクのない場所に住んでいるなど、自身の避難についても考えてきていないからこそ、

問3 台風14号時、貴センター・貴事業所では避難支援をしましたか？

※「台風14号では避難支援をしていない」と回答した人のみ回答

3-2. 「避難支援をしていない」理由をお聞かせください。



※「その他」の具体的内容

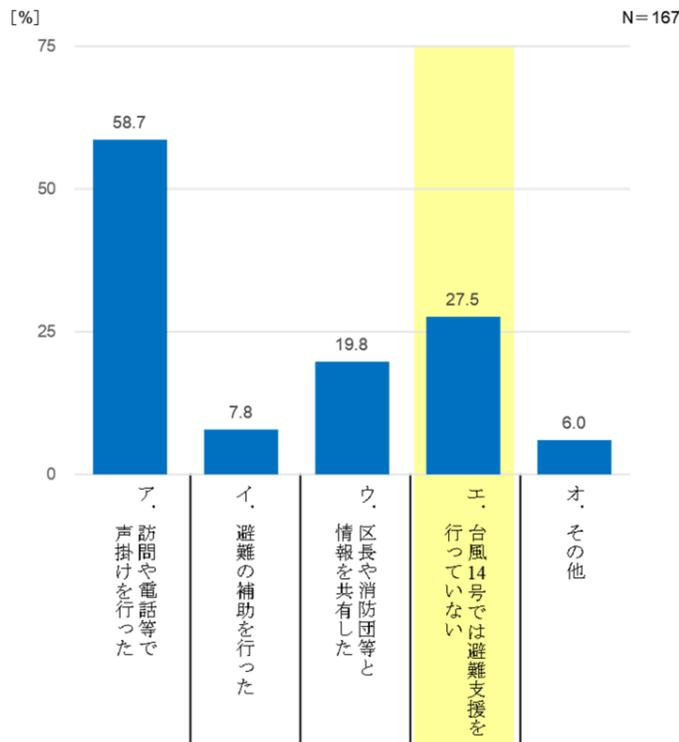
回答(コード化)	度数
事前に対応していたから	2
本人自身や家族にて対応可能なため	2
相談がなかったから	2
特に必要なかったから	1
避難する状況には至らなかったから	1
対象利用者に電話連絡をしようとしたが携帯電話が通じなかったから	1

「避難支援をしていない」理由は、さまざま回答をいただいたが、
 総じて、「避難支援が必要な利用者がいなかった(避難が必要な地区ではなかった)」といったことが背景に読み取れる。

: 民生委員アンケートで「被害や危険はほとんどなく、避難が必要ないと判断したから」が最も多かったのと、類似した傾向

問7

台風14号時に民生委員として、どのように避難支援をしましたか？
(当てはまるもの全てに○)



※「エ. 台風14号では避難支援を行っていない」の具体的理由

回答(コード化)	度数
被害や危険はほとんどなく、避難が必要ないと判断したから	16
要支援者に家族がいるから	4
自宅や自宅周辺に危険が迫っていたから	2
自分や自分の家族のことで手一杯だったから	2
自身が工作中だったから	2
支援をしても自宅に居た方が良いという高齢者が多かったから	1
避難支援体制が整っておらず動けなかったから	1
夜中でどうしようもなかったから	1
水害が想定できなかったから	1
風雨が激しくなってきたからでは自宅の方が安全であったから	1
何も連絡がなかったから	1
後日避難されたかを聞き取りした	1

※「オ. その他」の具体的内容

回答	度数
台風が近づいた時点で訪問して早めに避難を進めておく	1
台風後に声かけ訪問等行った。(区長と連携して行った)	1
翌日、担当地区の訪問活動をした。	1
訪問して弁当などを差し入れた。	1
台風後の物資配給支援に当たった。	1
避難場所へ確認してみた	1
区長さんにいつも連絡をお願いしている。	1
主任児童委員なので民生委員さんをお願いした。	1
避難場所の環境や備品不足、過去に避難の教訓で支援者から遠慮希望のため	1
この時まだ民生委員になっていませんでした	1

比較的回答率が高い項目

「訪問や電話等で声掛けを行った」

: 地区住民の皆さんに対して、避難支援のうち、比較的实施しやすい声掛けが最も高くなった。

「台風14号では避難支援を行っていない」

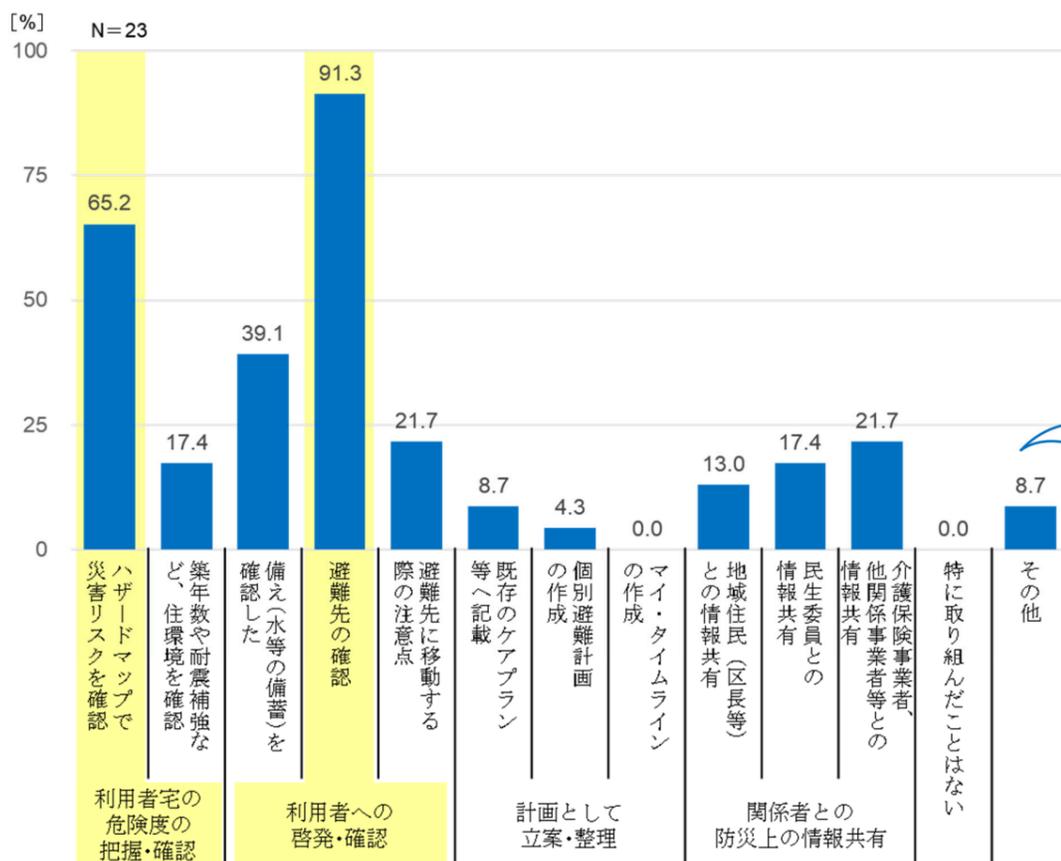
: 全市にとったアンケートのため、なかには避難が必要なほどの事態にならなかった地区もあったため。

福祉専門職 アンケート

「利用者の防災」に対する支援実施状況

問4

「利用者の防災」に対する支援で取り組んできていること（一部のみの関わりも含む）についてお聞かせください。（当てはまるもの全てに○）



※「その他」の具体的内容

回答	度数
地区の避難訓練の参加	1
今後、個別避難計画を通して取り組んでいく。	1

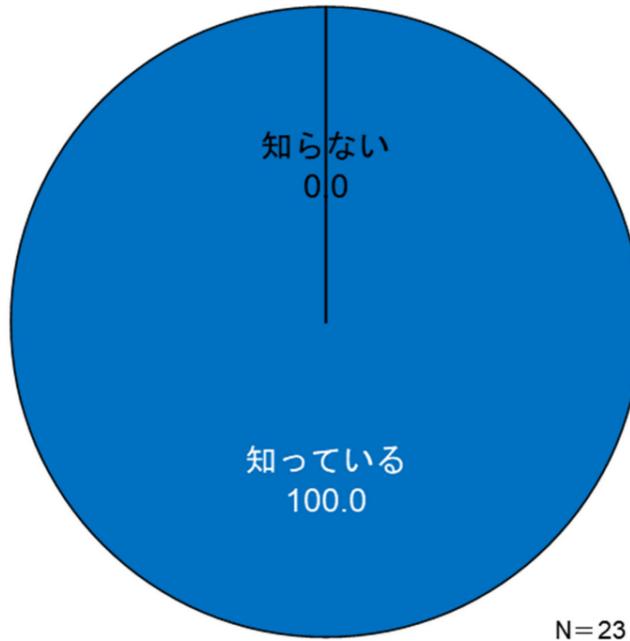
「避難先の確認」が最も多く、次いで、「ハザードマップで災害リスクを確認」。

: ハザードマップ掲載の情報を活用してできる項目が高い。

問5

「個別避難計画」の取組についてお聞かせください。

5-1. 個別避難計画を知っていますか？



全員が「(個別避難計画を)知っている」と回答。

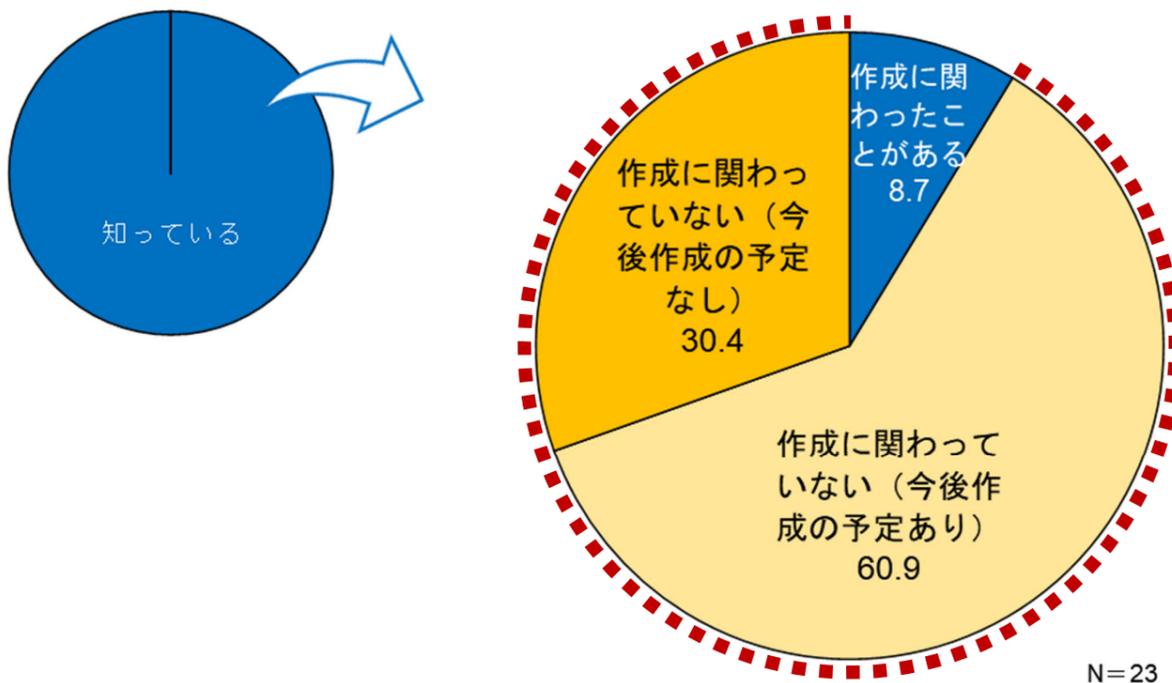
23

問5

「個別避難計画」の取組についてお聞かせください。

※「知っている」と回答した人のみ回答

5-2. 「個別避難計画」への関わり状況についてお聞かせください。



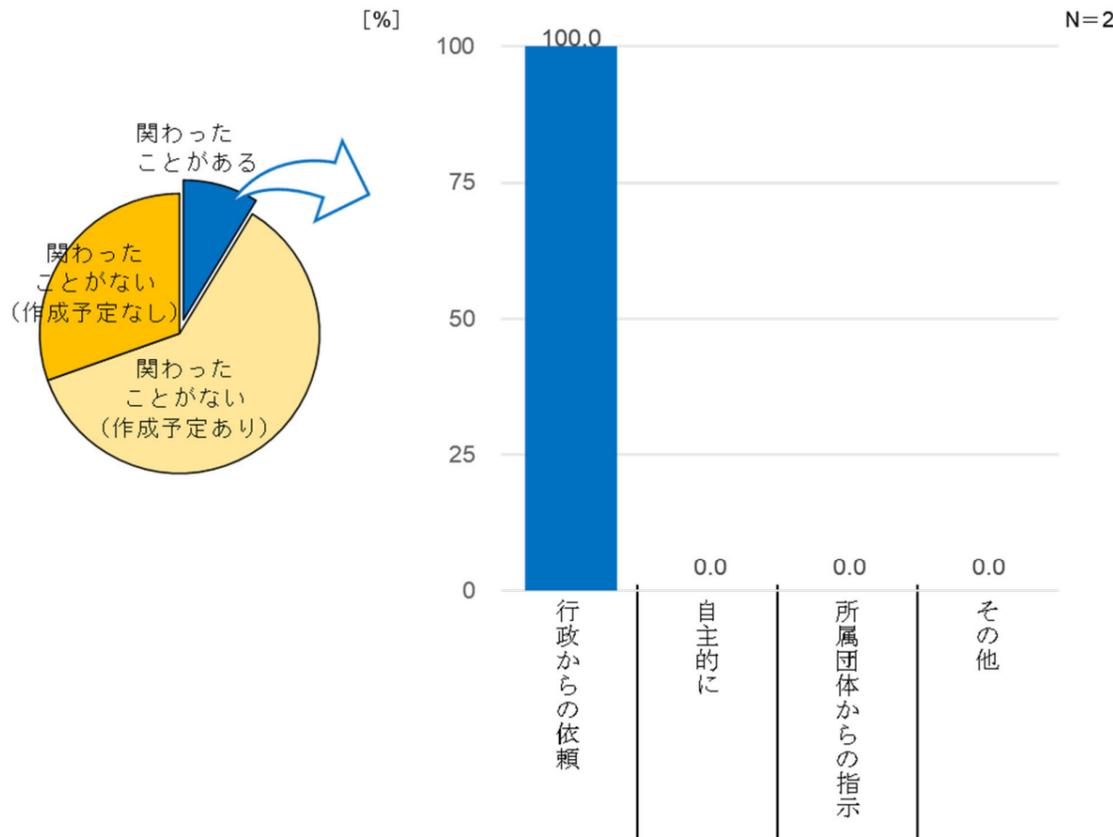
・ 知ってはいるものの、9割が「作成に関わっていない」と回答。

24

問5 「個別避難計画」の取組についてお聞かせください。

※「作成に関わったことがある」と回答した人のみ回答

5-3. 作成に関わった経緯についてお聞かせください(当てはまるもの全てに○)。
※近いものがなければ、「その他」の記入欄にご記入ください。

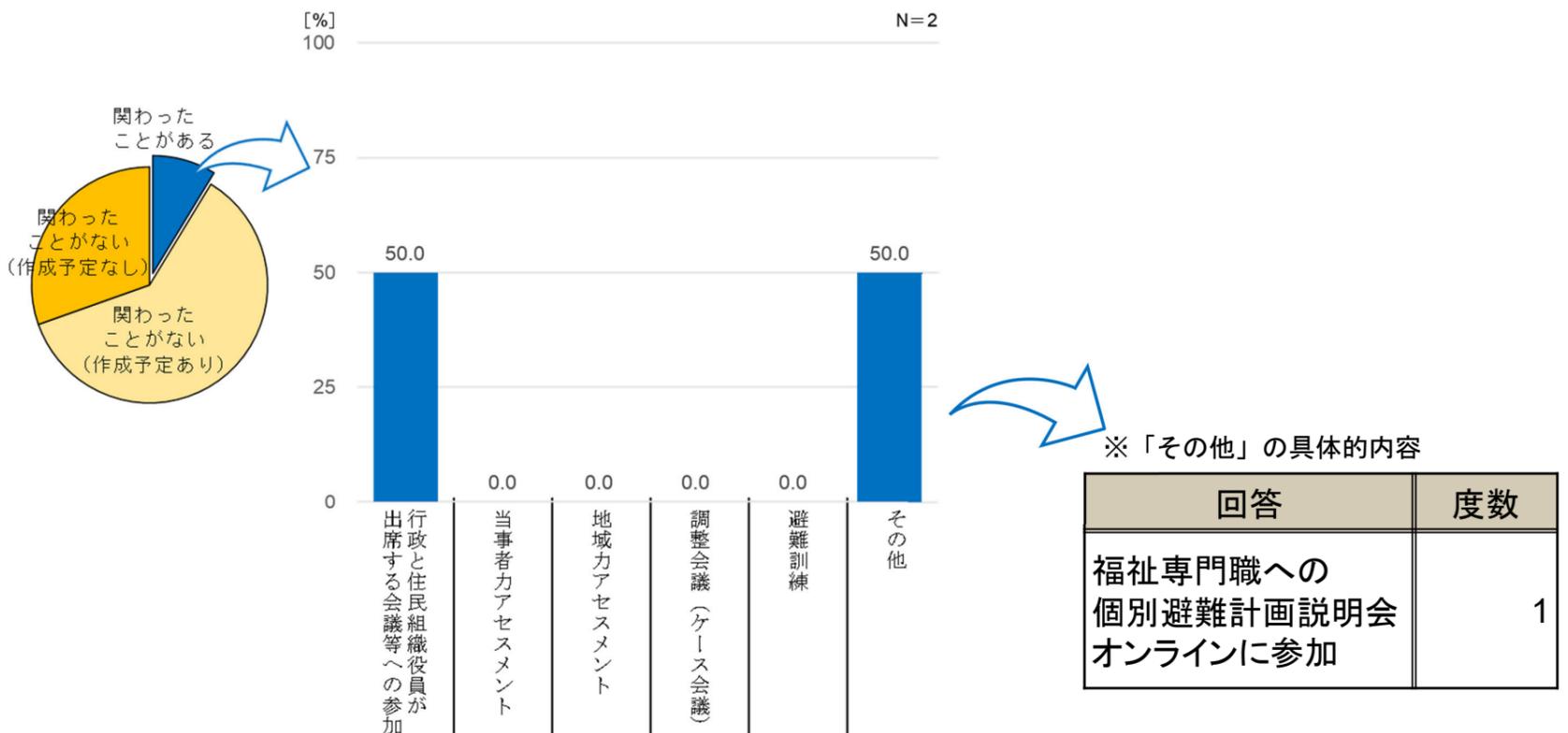


※留意点:回答傾向として論じるには、サンプルが少ない(「作成に関わったことがある」と回答した人が2名)
• 個別避難計画に関わった経緯としては、「行政からの依頼」に集中。

問5 「個別避難計画」の取組についてお聞かせください。

※「作成に関わったことがある」と回答した人のみ回答

5-4. 関わった内容についてすべて選択してください(当てはまるもの全てに○)。
※近いものがなければ、「その他」の記入欄にご記入ください。



※留意点:回答傾向として論じるには、サンプルが少ない(「作成に関わったことがある」と回答した人が2名)
• 会議や説明会の参加に留まる。
: 当事者や地域の防災リテラシー(リスク理解・備え自覚・行動の自信など)を高める取組への参画までは取り組まれていない状況。

問6

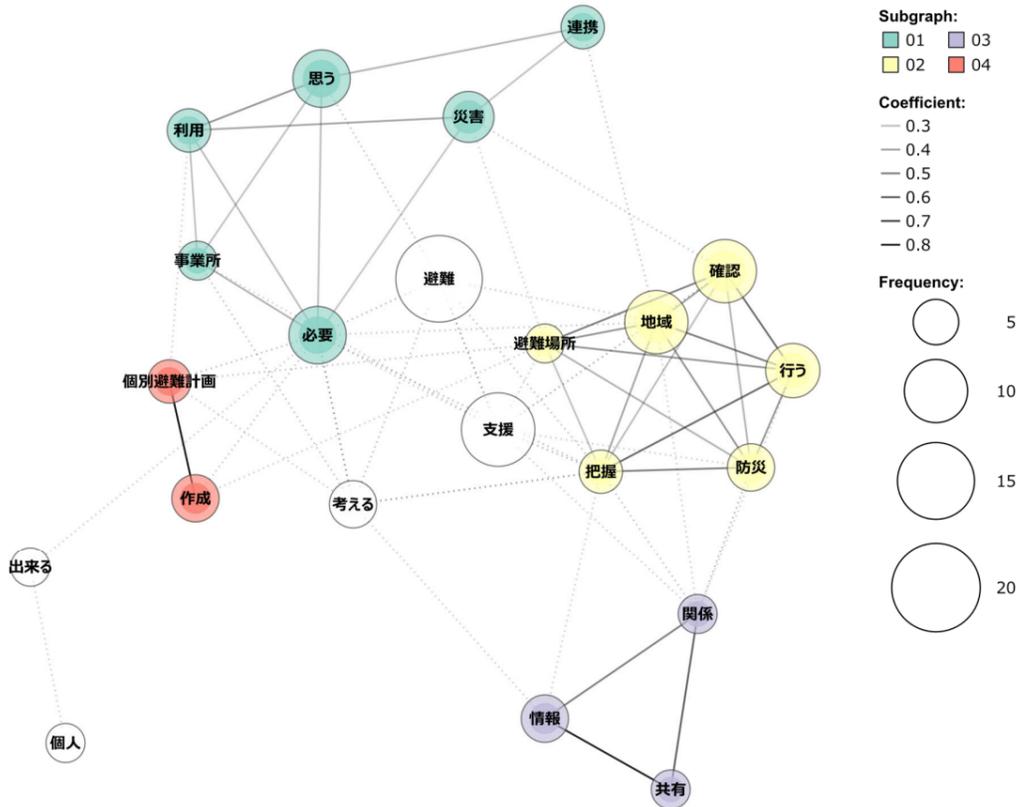
地域包括支援センター（相談支援事業所または基幹相談支援センター）として、今後どのように避難支援に関わると良いのか貴センターとしての考えを教えてください。（自由記述）

21件の自由回答をもとにテキストマイニング※を行った。

- ◆ テキストマイニング: 大量の文章データから統計学等を適用して有益なデータを抽出する手法。
→ 定性データである文字列を単語（名刺、動詞、形容詞等）に分割し、それらの出現頻度や相関関係を分析できる。

▼頻出語(上位30)

抽出語	出現回数
1 避難	21
2 支援	15
3 確認	11
4 地域	11
5 思う	9
6 必要	9
7 行う	8
8 災害	7
9 考える	6
10 作成	6
11 情報	6
12 防災	6
13 個別避難計画	5
14 把握	5
15 利用	5
16 連携	5
17 関係	4
18 共有	4
19 個人	4
20 事業所	4
21 出来る	4
22 避難場所	4
23 意識	3
24 一緒	3
25 家族	3
26 感じる	3
27 関わる	3
28 訓練	3
29 行動	3
30 今後	3

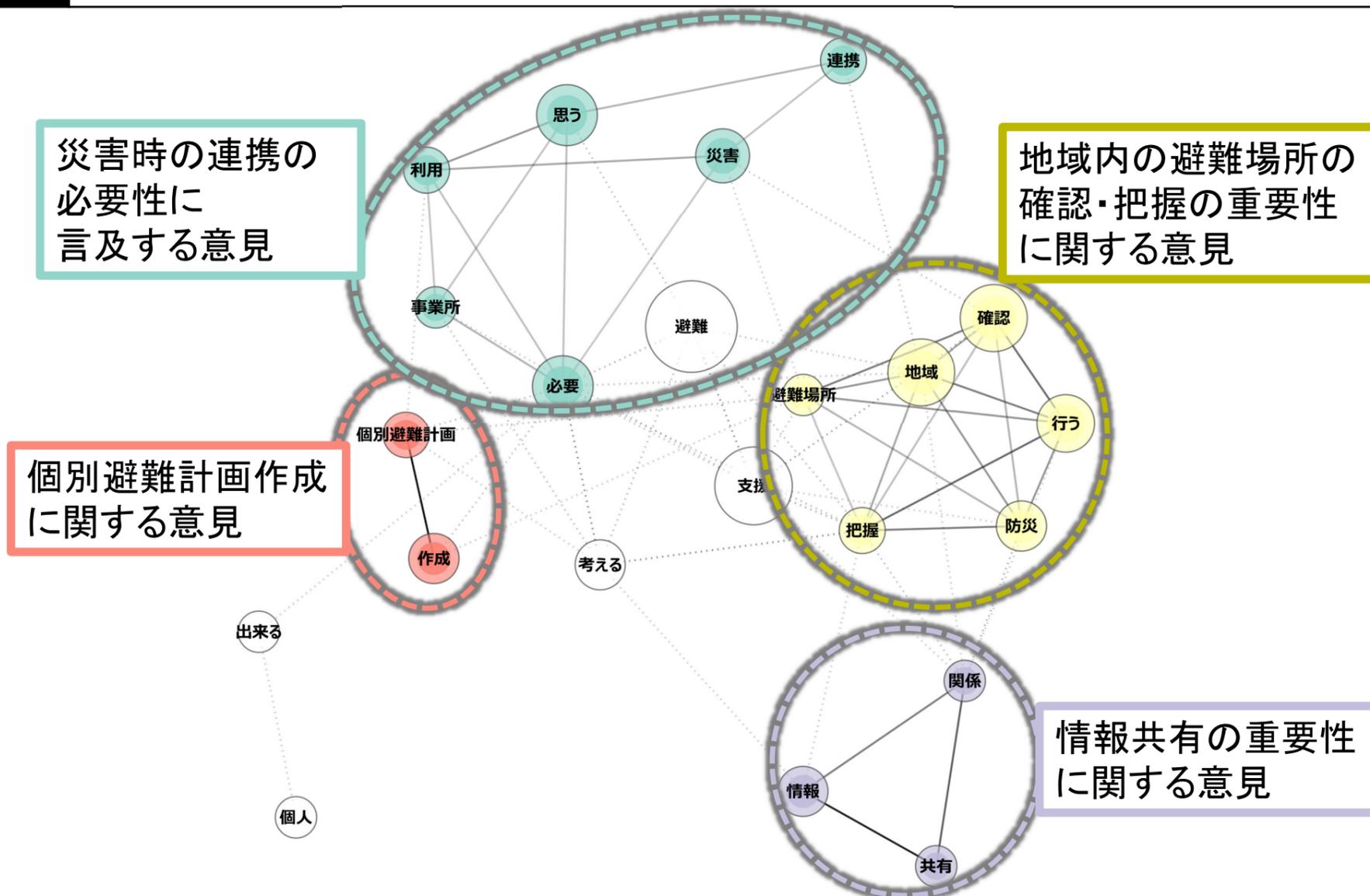


分析ソフト	KH-corder
集計単位	段落
最小出現数	4:分析での煩雑さ回避のため、上位20語程度に絞った。
描画する共起関係の選択	Jaccard
描画設定	強い共起関係程濃い線に。

▲共起ネットワーク分析: 単語同士の関連性や出現パターンの類似性を踏まえて文章中の単語の繋がりを可視化したもの

問6

地域包括支援センター（相談支援事業所または基幹相談支援センター）として、今後どのように避難支援に関わると良いのか貴センターとしての考えを教えてください。（自由記述）



問6

地域包括支援センター(相談支援事業所または基幹相談支援センター)として、今後どのように避難支援に関わると良いのか貴センターとしての考えを教えてください。(自由記述)

自由回答意見の例

※ 共起ネットワーク図で結ばれている語は、「関連して出やすい」という意味で、1件のご意見の中ですべての単語が必ずしも記載されているわけではありません。

関係者との情報共有に関する意見 **情報、共有、関係**

- ◆ 実態把握や**関係機関と情報共有**するなどして、地域住民の状況を確認する。地域住民が防災に対して意識付けができるような支援を行う。(出前講座で防災の話をしたり、防災について一緒に考える。訪問時にどこに避難するかを確認したりする)
- ◆ 相談支援事業所として、利用者本人の**個人情報**を扱う際については、細心の注意を払う必要を感じます。また、どこまでの範囲を**関係者**とみなし、**個人情報**として**共有**していくのかが、(ケースバイケースとは思いますが)難しいように感じます。

災害時の連携に関する意見 **災害、連携、必要、使用、事業所、思う**

- ◆ まずは**事務所**がある地域との連携、そして担当地域の区長や民生委員との**連携**も**必要**になると**思われる**ため、地区の避難訓練や話し合い等に参加し、当包括ができることを一緒に考え準備していく。また、担当地域の介護**事業所**ともどのような**連携**ができるのか、話し合う場を設けていく**必要**があると考えている。
- ◆ 地域の要支援者の把握を行い、**災害時**の避難場所や経路、移動手段の確認を行う。**必要**時は、地域の民生委員や区長、推進チーム等の関係者と**連携**を図り、高齢者の逃げ遅れがないよう、日頃から地域全体で防災意識を高める働きかけを行う。

問6

地域包括支援センター(相談支援事業所または基幹相談支援センター)として、今後どのように避難支援に関わると良いのか貴センターとしての考えを教えてください。(自由記述)

自由回答意見の例

※ 共起ネットワーク図で結ばれている語は、「関連して出やすい」という意味で、1件のご意見の中ですべての単語が必ずしも記載されているわけではありません。

個別避難計画作成に関する意見 **個別避難計画、作成**

- ◆ 相談支援事業所としては、引き続き、サービス等利用計画の更新時に避難場所の確認、災害時に必要な支援を確認していきます。**個別避難計画**の**作成**についても、支援区分の重い方から順に、少しずつ進めていきたいと考えています。
- ◆ 要支援者がわかりやすい、**個別避難計画**の**作成**

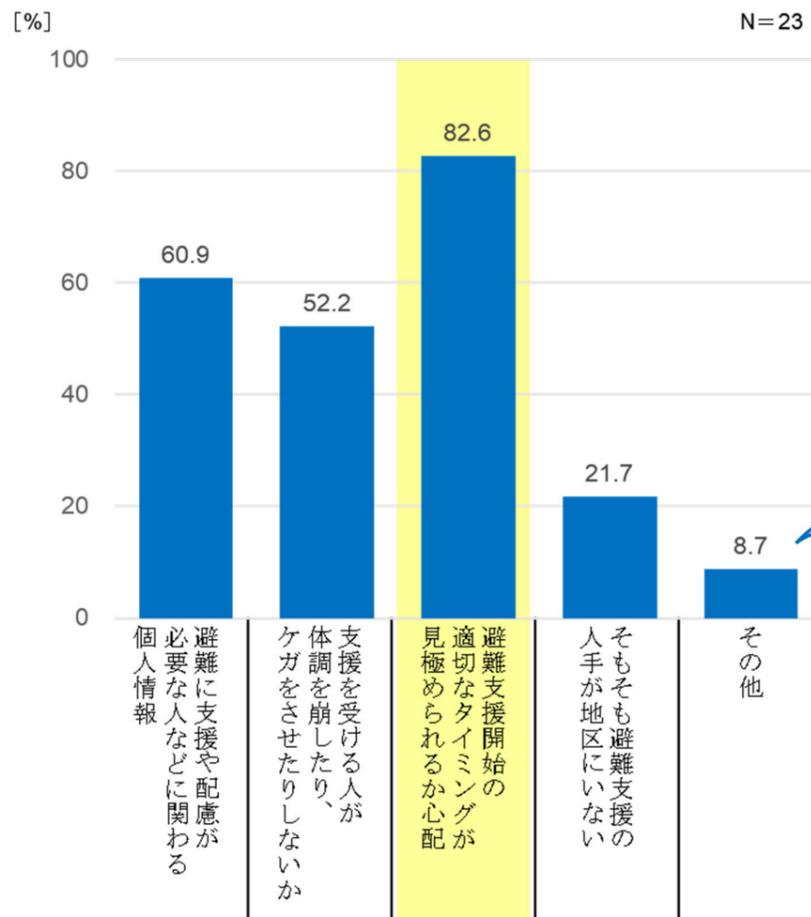
地域内の避難場所の確認・把握の重要性に関する意見

地域、防災、避難場所、確認、把握、行う

- ◆ 現在、訪問時に**避難場所**の確認や緊急連絡先の確認を**行っている**。今後は土砂災害警戒区域や過去に水害のあった**地域**に住んでいる方から、順次、個別避難計画を作成していきたい。
- ◆ 有識者や専門職による**防災**講話の開催を調整し、**地域**や個人に意識を持ってもらえるような取り組み。実際に圏域内の各地区の避難訓練等に参加し、避難状況や**避難場所**の確認、避難行動支援者の**把握**を行う。

問7

地域包括支援センター、もしくは相談支援事業所・基幹相談支援センターとして、災害時の支援に関し懸念していることについて、お聞かせください。(当てはまるもの全てに○)



※「その他」の具体的内容

回答	度数
避難しないという方への対応	2

・ 比較的回答率が高い項目「避難支援開始の適切なタイミングが見極められるか心配」

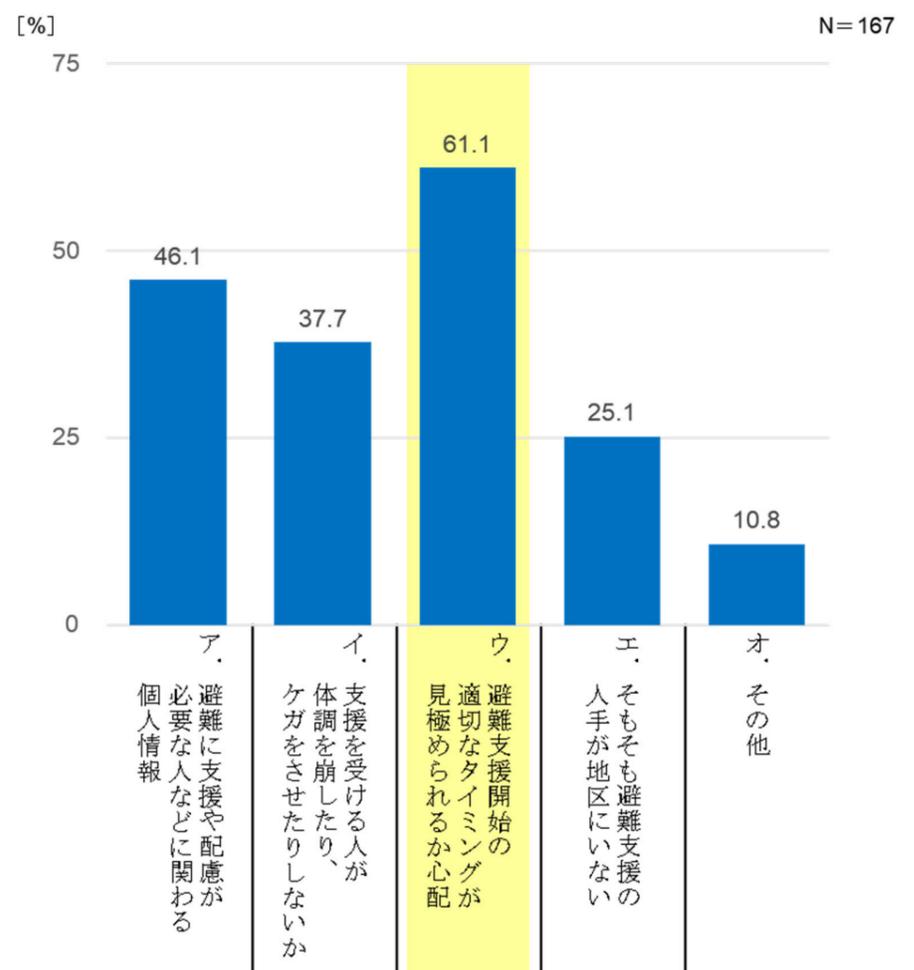
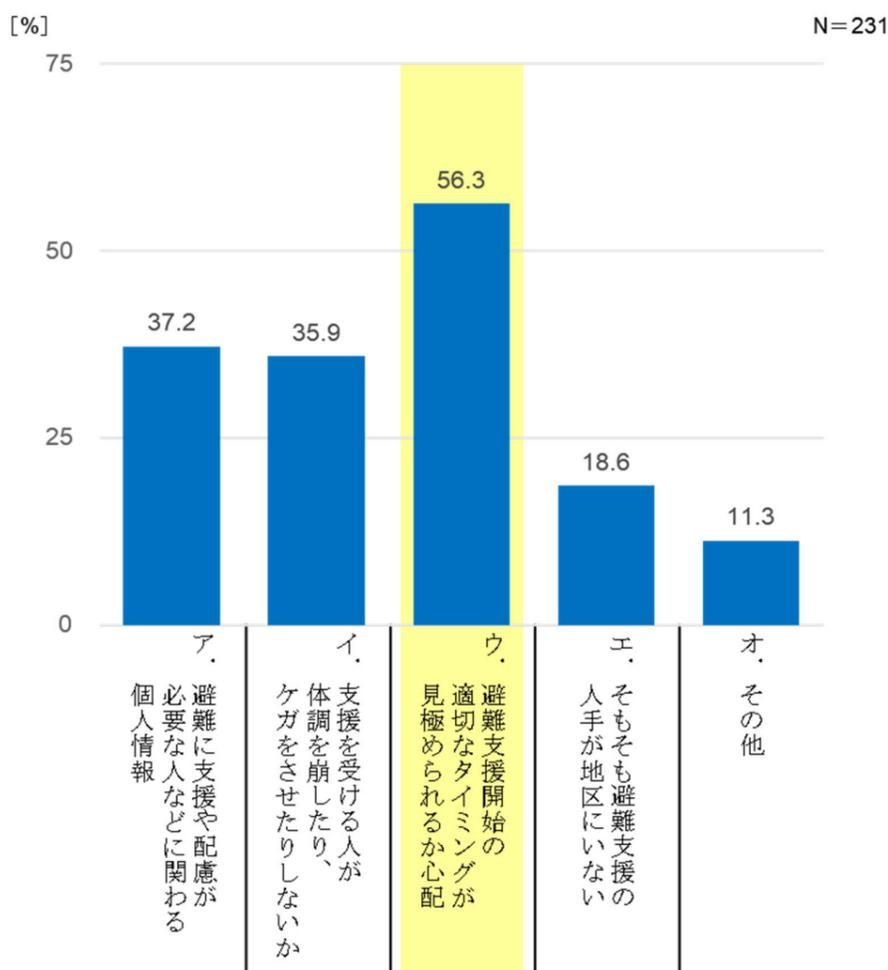
- : 区長アンケート、民生委員アンケートと同様。
- : 台風14号時にも実際に「避難支援開始のタイミングの見極め」で困ったと、多くの回答が挙がっている。(問3.3-6)
- : そもそも自宅周辺に災害リスクのない人が多いことが背景にあるためと推察している。

問9

区長(区)として、災害時の支援に関し懸念していることについて、お聞かせください。(当てはまるもの全てに○)

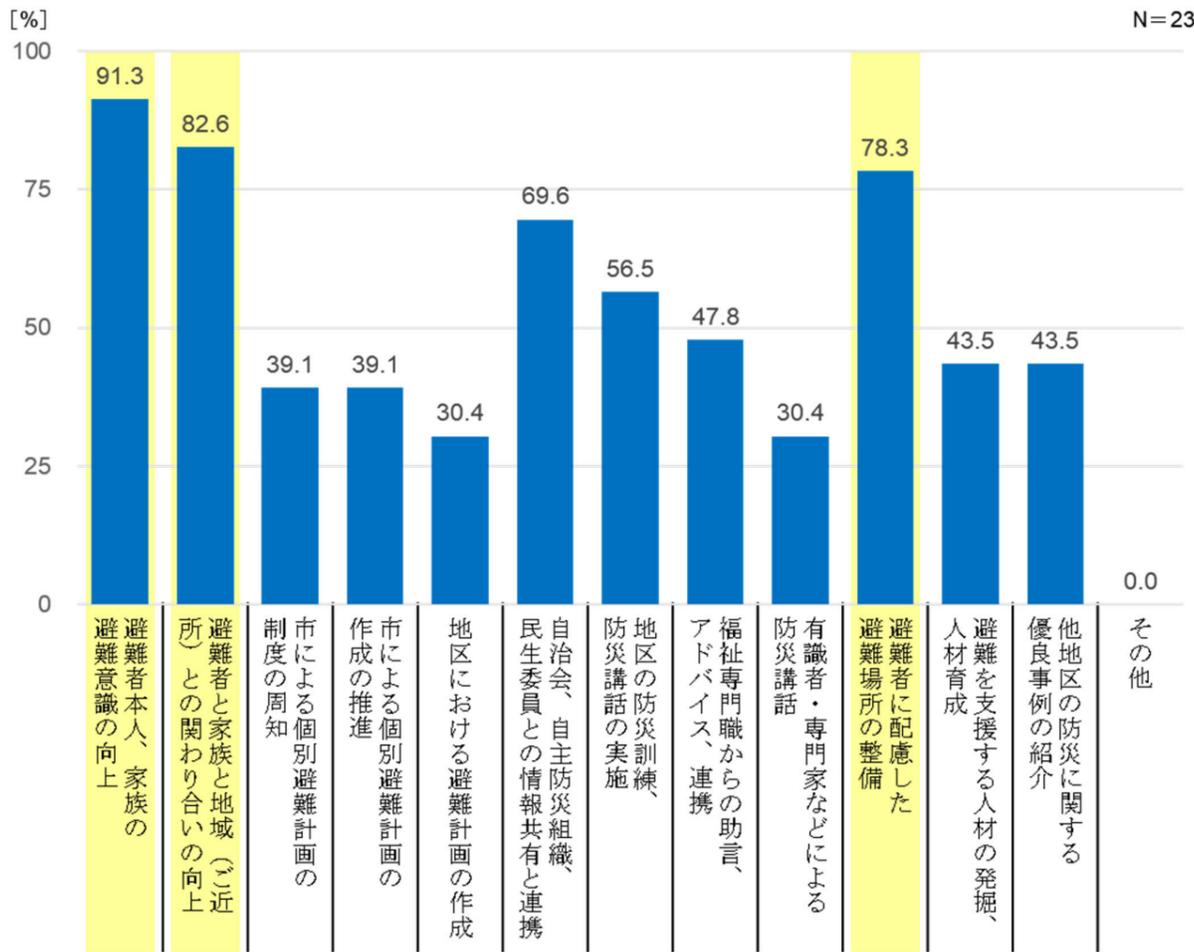
区長アンケート

民生委員アンケート



問8

今後、避難行動要支援者の避難・避難支援が円滑に進むために必要と思われることについて、お聞かせください。(当てはまるもの全てに○)

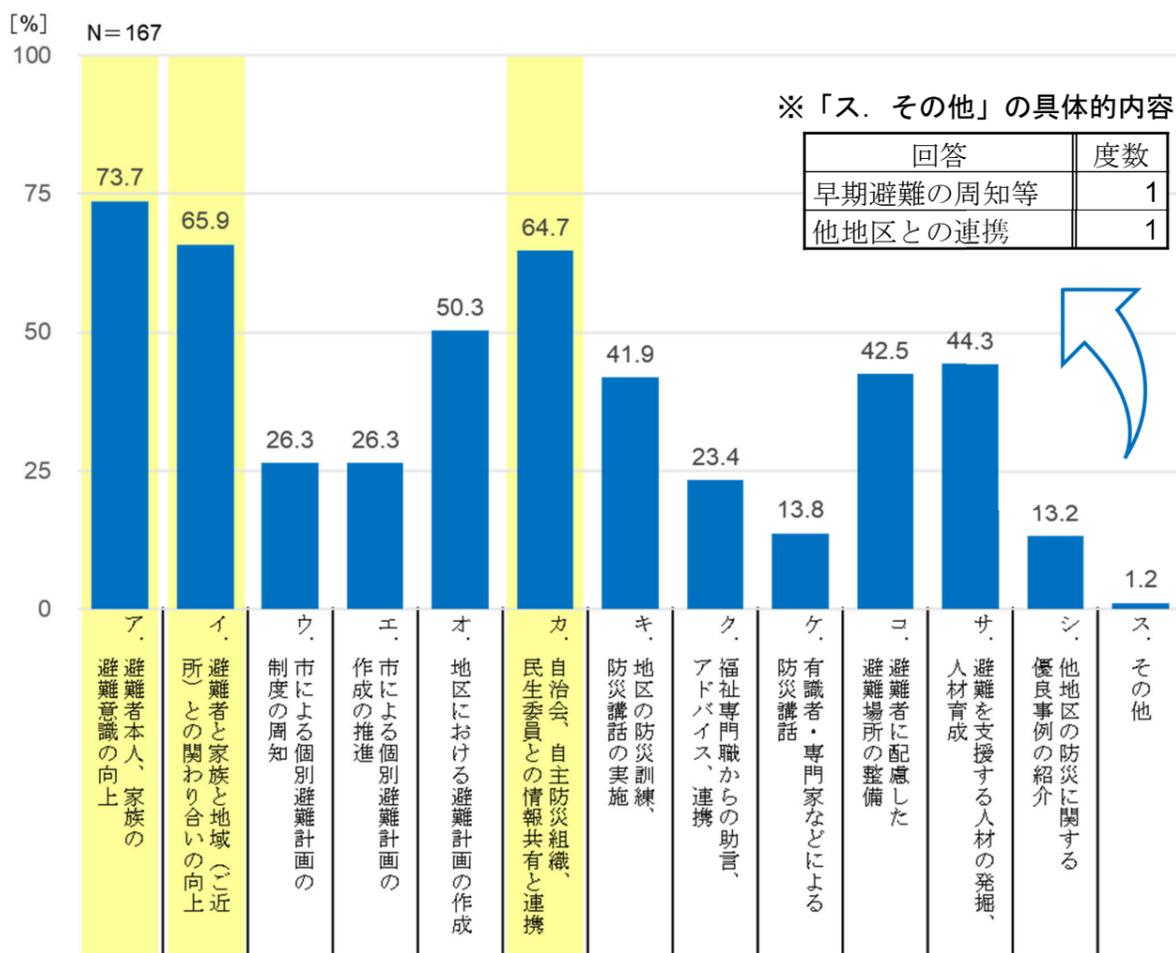


民生委員アンケートと比較的類似した傾向

- 比較的回答率が高い項目
 - ①「避難者本人、家族の避難意識の向上」
：民生委員アンケートでも上位。
：自分たち(福祉専門職)や、外部のチカラよりも、利用者の自助意識の必要性・重要性を強く感じていることが推察される。
 - ②「避難者と家族と地域(ご近所)との関わり合いの向上」
：民生委員アンケートでも上位。
：関わり合い、コミュニケーションを図り続けることで、上記①②の改善も期待できるため、この選択肢にも回答が集まったと推察される。
 - ③「避難者に配慮した避難場所の整備」
：民生委員アンケートで上位に挙げなかった項目
：生活しやすい住環境などにも気を配ることが仕事柄あることから、回答が集中したと推察される。

問9

今後、避難行動要支援者の避難・避難支援が円滑に進むために必要と思われることについて、お聞かせください。(当てはまるもの全てに○)



- 比較的回答率が高い項目
 - ①「避難者本人、家族の避難意識の向上」
：自分たち(民生委員児童委員)や、外部のチカラよりも、自助意識の必要性・重要性を強く感じていることが推察される。
 - ②「自治会、自主防災組織、民生委員との情報共有と連携」
：自助意識の向上も必要と思っているが、共助体制を整えることについての必要性も強く感じていることが推察される。
：問6で「平時から情報共有できている」は半数で、裏を返せば、半数は「平時からの情報共有はできていない」。その状況もあり、情報共有・連携の必要性を強く感じていると考えられる。
 - ③「避難者と家族と地域(ご近所)との関わり合いの向上」
：関わり合い、コミュニケーションを図り続けることで、上記①②の改善も期待できるため、この選択肢にも回答が集まったと推察される。

問9

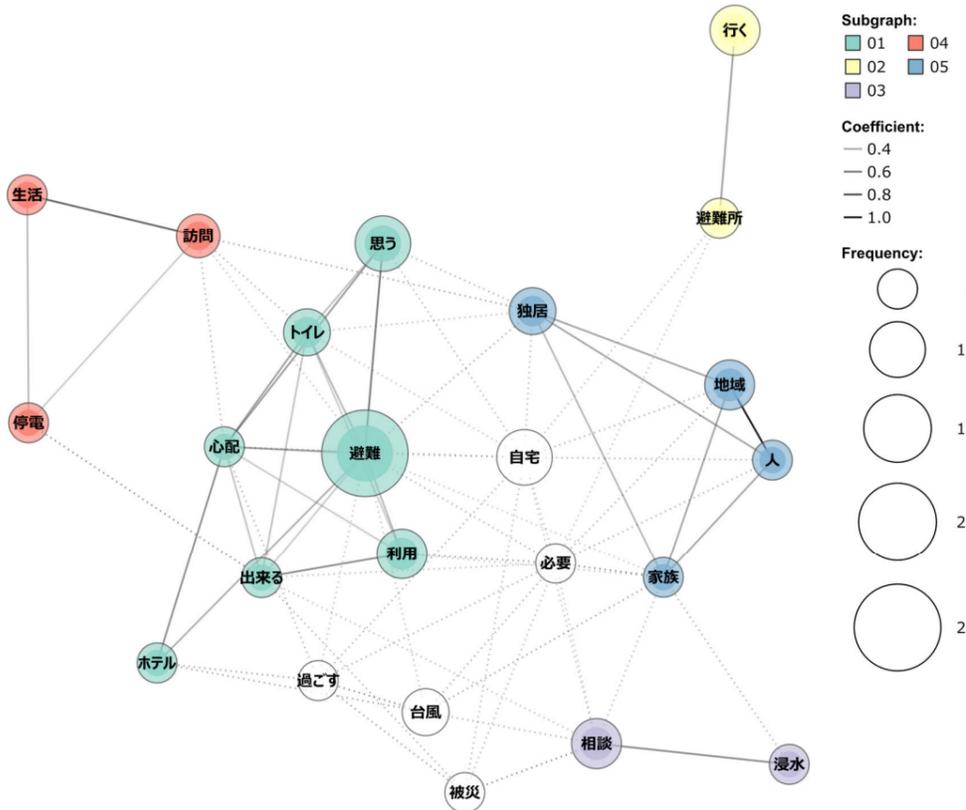
最後に、台風14号の通過後に、地域住民や要支援者、関係事業者等から避難支援や被災された方から実際に相談されたことや、見聞きしたことがありましたら、教えてください。

■ 17件の自由回答をもとにテキストマイニング※を行った。

- ◆ テキストマイニング: 大量の文章データから統計学等を適用して有益なデータを抽出する手法。
→ 定性データである文字列を単語(名刺、動詞、形容詞等)に分割し、それらの出現頻度や相関関係を分析できる。

▼ 頻出語(上位30)

	抽出語	出現回数
1	避難	25
2	思う	10
3	自宅	10
4	行く	8
5	相談	8
6	地域	8
7	利用	8
8	トイレ	7
9	台風	7
10	独居	7
11	訪問	6
12	ホテル	5
13	家族	5
14	過ごす	5
15	出来る	5
16	心配	5
17	浸水	5
18	人	5
19	生活	5
20	停電	5
21	被災	5
22	避難所	5
23	必要	5
24	ボランティア	4
25	安心	4
26	行ける	4
27	今回	4
28	子供	4
29	受ける	4
30	障害	4

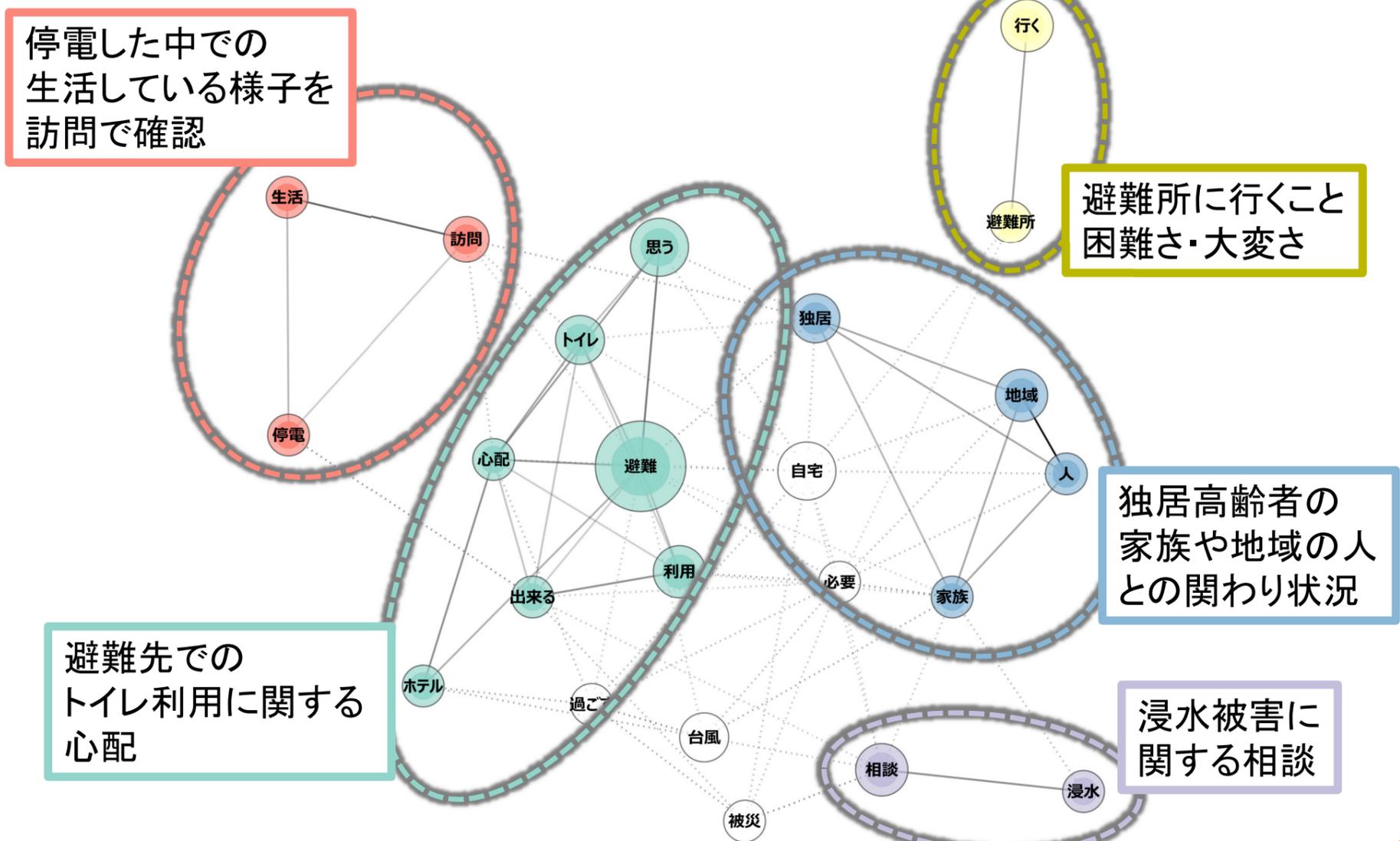


分析ソフト	KH-corder
集計単位	段落
最小出現数	5: 分析での煩雑さ回避のため、上位20語程度に絞った。
描画する共起関係の選択	Jaccard
描画設定	強い共起関係程濃い線に。

▲ 共起ネットワーク分析: 単語同士の関連性や出現パターンの類似性を踏まえて文章中の単語の繋がりを可視化したもの

問9

最後に、台風14号の通過後に、地域住民や要支援者、関係事業者等から避難支援や被災された方から実際に相談されたことや、見聞きしたことがありましたら、教えてください。



問9

最後に、台風14号の通過後に、地域住民や要支援者、関係事業者等から避難支援や被災された方から実際に相談されたことや、見聞きしたことがありましたら、教えてください。

自由回答意見の例

※ 共起ネットワーク図で結ばれている語は、「関連して出やすい」という意味で、1件のご意見の中ですべての単語が必ずしも記載されているわけではありません。

浸水被害に関する相談 **浸水、相談**

- ◆ 相談員より、自宅浸水により、住むことができず、住宅が確保の件で相談を受けた。
- ◆ 浸水被害に遭った地区の見回りに行った際、被災後の片付けが思うように進まないとの相談を受け、社会福祉協議会の災害ボランティアの紹介を行った。

避難先でのトイレ利用に関する心配事・問題

- ◆ **トイレ**に行く回数が多いので、**トイレ**の場所が近い所にしてもらった。歩く距離が長いと行けない。
避難、利用、トイレ、ホテル、出来る、心配、思う
- ◆ アパート(2F)に独居だけれど、自分は車いすだし、ここは安全だと聞いているので、一人は心細いけれど、アパートに居るほうが安心と思い、**避難**はしなかった。実際、**トイレ**の問題がある。(50代男性)

停電した中での生活している様子を訪問で確認 **訪問、停電、生活**

- ◆ 訪問するとロウソクを灯して生活していた。高齢者世帯なので、火の心配が絶えなかった。携帯の充電器をしてあげた。公民館開放を公民館長に依頼した。

問9

最後に、台風14号の通過後に、地域住民や要支援者、関係事業者等から避難支援や被災された方から実際に相談されたことや、見聞きしたことがありましたら、教えてください。

自由回答意見の例

※ 共起ネットワーク図で結ばれている語は、「関連して出やすい」という意味で、1件のご意見の中ですべての単語が必ずしも記載されているわけではありません。

独居高齢者の家族や地域の人との関わり状況 **独居、地域、家族、人**

- ◆ ケース①(**独居**の高齢女性)・・・1人で過ごすことが不安であったため、台風の接近の前にホテルを予約して過ごした。今回はたまたまホテルが予約できたので安心して過ごせたが、**地域**にも頼れる**人**や**家族**もおらず台風や風水以外の多い時期はいつも不安。
- ◆ 水害のあった**地域**への戸別訪問をして、健康把握や精神的な負担等、傾聴を心がけた。**独居**等、心配な世帯には、継続的に訪問をした。
: **地域**の人たちと西階競技場に避難をした時、**地域**の人達から、トイレ誘導や介助などには抵抗を感じて嫌だった。自分でもできるのに・・・
: **地域**の人には、迷惑をかけたくないし、足も悪いから、家がいい。

避難所に行くこと困難さ・大変さ **避難所、行く**

- ◆ 慣れたんだ自宅から離れたくないし、知らない人たちの中ではストレスが溜まる。家族という方が安心する。
医療が必要な利用者に対しての整備が整っていない。
動くにも時間がかかり、支援がないと**避難所**へは**行けない**。
地域の放送が聞き取りづらく、周りの状況が暗くてわからなかったなので、2階に逃げるしかなかった。